

ドリームチャート

設定マニュアル

内容

1. インストール	3
1-1 ドリームチャートアプリダウンロード	3
1-2 ダウンロードファイルの展開	4
1-3 ドリームチャートを実行する	5
2. 銘柄名登録・データ追加	7
2-1 データダウンロード	7
2-2 銘柄名の登録	8
2-3 データの追加	9
3. チャートウインドの生成・操作	12
3-1 チャートウインドの生成	12
3-2 指標の表示	14
3-3 チャートウインドのサイズ変更	18
3-4 ロウソク足の幅の拡大・縮小	19
3-5 表示する日時の変更	21
3-5-1 スライダーバーを移動して変更する	21
3-5-2 日時を指定して変更する	22
3-6 チャートウインド内の描画領域の比率変更	22
3-6-1 指標描画領域の幅を広くする操作	22

3-6-2	ロウソク足描画領域の幅を広くする操作.....	23
4.	データウインドの生成.....	24
5.	テクニカル指標.....	26
5-1	テクニカル指標を追加する.....	26
5-1-1	価格描画領域に重ね合わせるテクニカル指標.....	27
5-1-2	分割ウインドを生成し描画するテクニカル指標.....	28
5-2	MA:移動平均線 (Moving Average)	28
5-3	MA2-1 : 短期移動平均と長期移動平均とその平均 (Moving Average 2-1)	30
5-4	PBZigzag : ピークボトムジグザグ (Peak Bottom Zigzag) 高値 n MA 安値 n MA による転換.....	31
5-5	HLBand : ハイローバンド (High Low Band) n 高値線、n 安値線.....	34
5-6	IRHL : ラリーピークボトムライン(Important Recorded High Low).....	37
5-7	Bllngr : ボリンジャーバンド(Bollinger Bands).....	39
5-8	Stchstc : ストキャティクス(Stochastic).....	40
5-9	RCI : アールシーアイ(Rank Correlation Index)順位相関係数.....	41
5-10	MACD : マックディ(Moving Average Convergence and Divergence)マックディ.....	42
5-11	Vol : ボリューム(Volume)出来高.....	44
6.	マルチチャート再生.....	46
6-1	再生モードへの切り替え.....	47
6-2	コントロールパネルの操作.....	47
6-2-1	再生コントロールパネルの再生日時指定.....	47
6-2-2	再生速度の選択.....	48
6-2-3	早戻し、早送り時の送り時間の設定.....	49
6-2-4	コントロールパネルの再生コントロールボタン.....	49
7.	ピークとボトム合成図.....	51

7-1 ピークとボトム合成図の元になるチャートを表示する.....	51
7-1-1 設定済みファイルを利用する場合	51
7-1-2 設定ファイルを使わずに作成する場合	54
7-2 ピークとボトム波動合成を表示する.....	54
7-3 ピークとボトム合成図のライン色の設定	56
8. 各情報-保存/呼出.....	59
8-1 デスクトップ情報の保存	59
8-2 デスクトップ情報の呼出し	61
9. その他の機能.....	63
9-1 画面キャプチャ	63
9-2 CSV ファイル出力.....	64

1. インストール

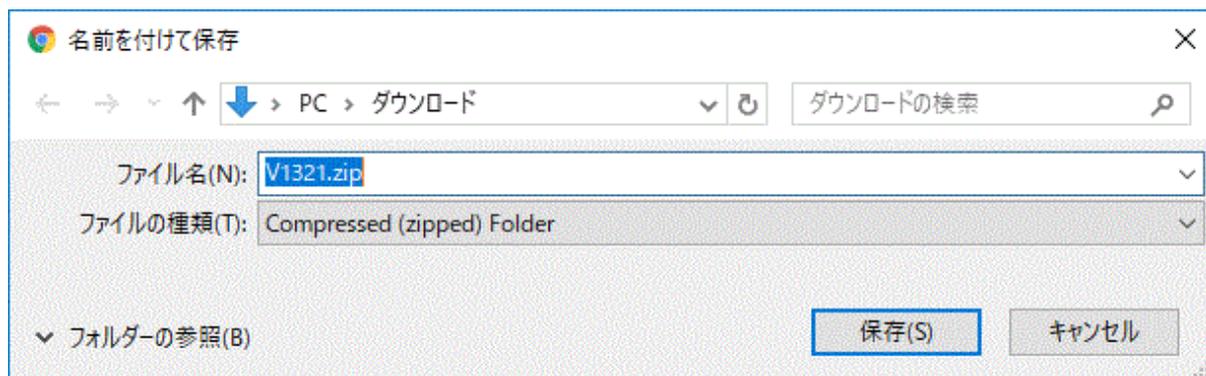
1-1 ドリームチャートアプリダウンロード

会員ページよりドリームチャートアプリをダウンロードします。

会員ページにログイン後、ダウンロード → ドリームチャートアプリ → の順にクリック



最新バージョンをダウンロードします。



保存をクリックすると、

ダウンロードフォルダに、ダウンロードされます。

1-2 ダウンロードファイルの展開

 ダウンロードしたファイルは、圧縮されているファイルとなりますので必ず解凍する必要があります。

ダウンロードしたファイルを選択して右クリックして

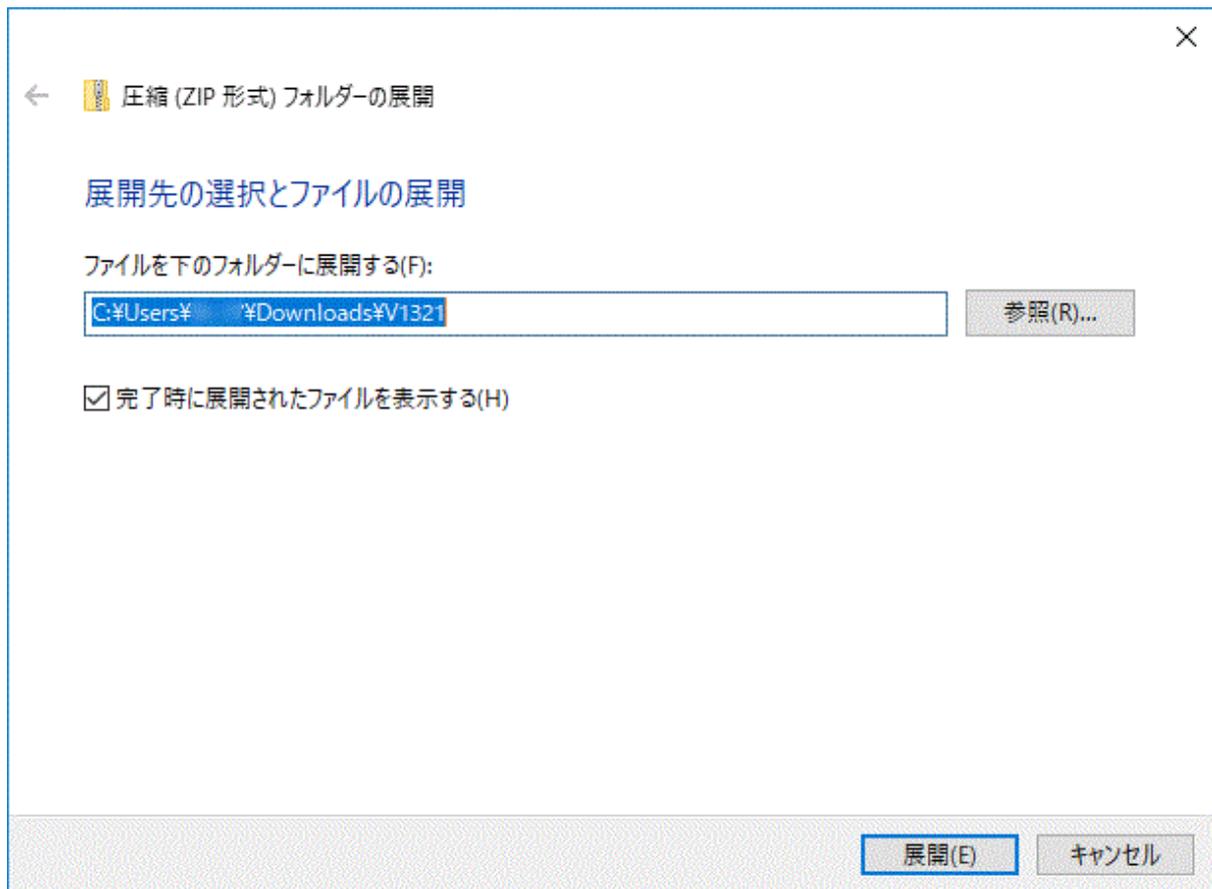
「すべて展開」をクリック。



「すべて展開」をクリックすると、

展開先の選択とファイルの展開の画面が表示されます。

展開先を選択して「展開」をクリック。



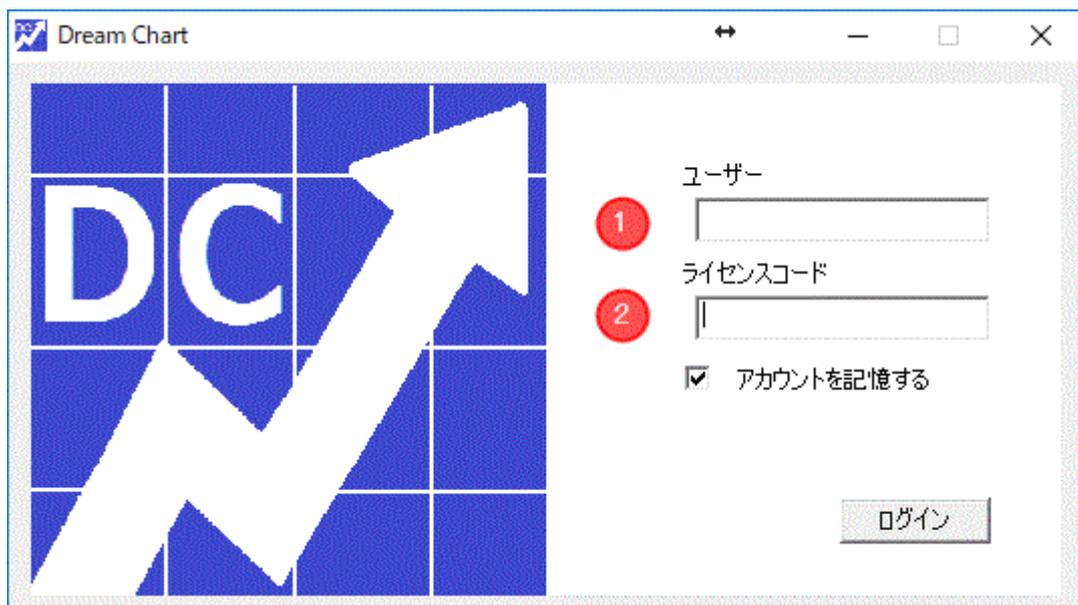
「参照」をクリックして、デスクトップを選択すると、デスクトップにファイルが展開されます。

1-3 ドリームチャートを実行する

展開したフォルダを開き、「実行ファイル」フォルダをダブルクリック。



DreamChart.exe をダブルクリックして実行。



- 1 ユーザー：アカウント ID（会員ページと共通）変更していなければ登録メールアドレス
- 2 ライセンスコード：会員ページにて確認します。（パスワードではありません。）

入力後、「ログイン」を押すとドリームチャートが立ち上がります。

2. 銘柄名登録・データ追加

2-1 データダウンロード

会員ページよりデータをダウンロードします。

会員ページにログイン後、ダウンロード → 過去データ → の順にクリック

ホーム ご案内 **1** ダウンロード サポート

コンテンツ / ドリームチャートダウンロード / 過去データ

ご案内 (ドリームチャート)

- 更新について
- 退会方法について
- ドリームチャートダウンロード
- ドリームチャートアプリ
- 2** 過去データ
- データ変換ソフト

過去データ

一括ダウンロード **3**

新しいアプリ、バージョン「Ver 1.2.2.4、Ver 1.1.3.4以降」用です。
1999年3月～2017年12月分
[All-min1-EX0-199903-201712をダウンロード]

サイズが大きく (126MB) なっていますので、うまくダウンロードできない場合は下の分割ファイルでダウンロードください。

分割ダウンロード **4**

3つのファイルに分かれています。

[min1-EX0-199903-201012をダウンロード]
1999年3月～2010年

[min1-EX0-201101-201412をダウンロード]
2011年～2014年

[min1-EX0-201501-201712をダウンロード]
2015年～2017年

1999年3月からのデータがダウンロードできます。

一括ダウンロードよりデータをダウンロードします。

※一括ダウンロード、分割ダウンロード どちらも同じデータですが

一括ダウンロードは、データが大きくなっていますので

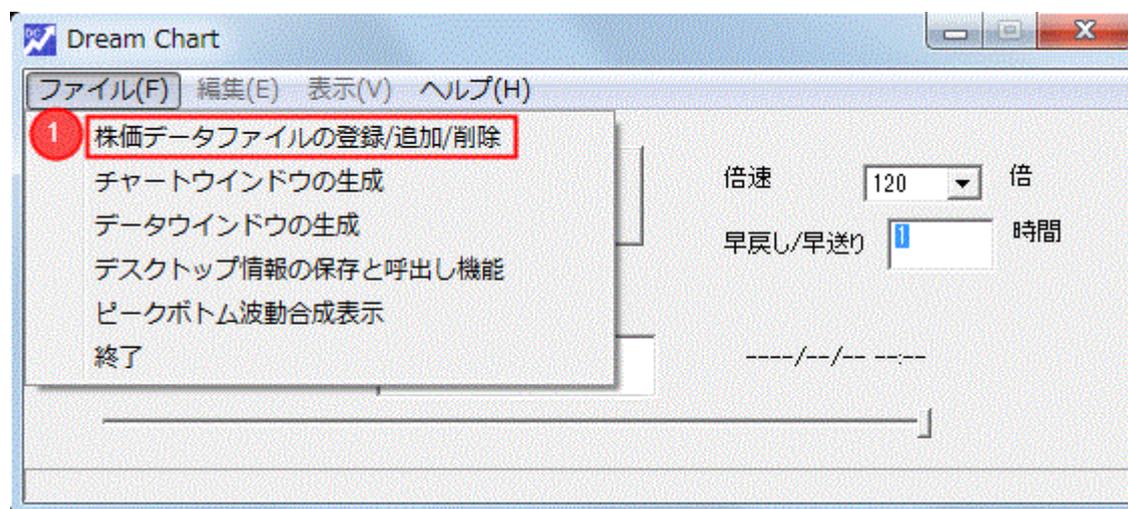
うまくダウンロードできない場合は、分割ダウンロードをご利用ください。

今年分のデータダウンロード先については、会員ページにリンク先を記載しております。

2-2 銘柄名の登録

ダウンロードを行い、データが揃ったところで、そのデータをドリームチャートに登録（追加）します。

ファイル (F) → 株価データファイルの登録/追加/削除 を選択します。



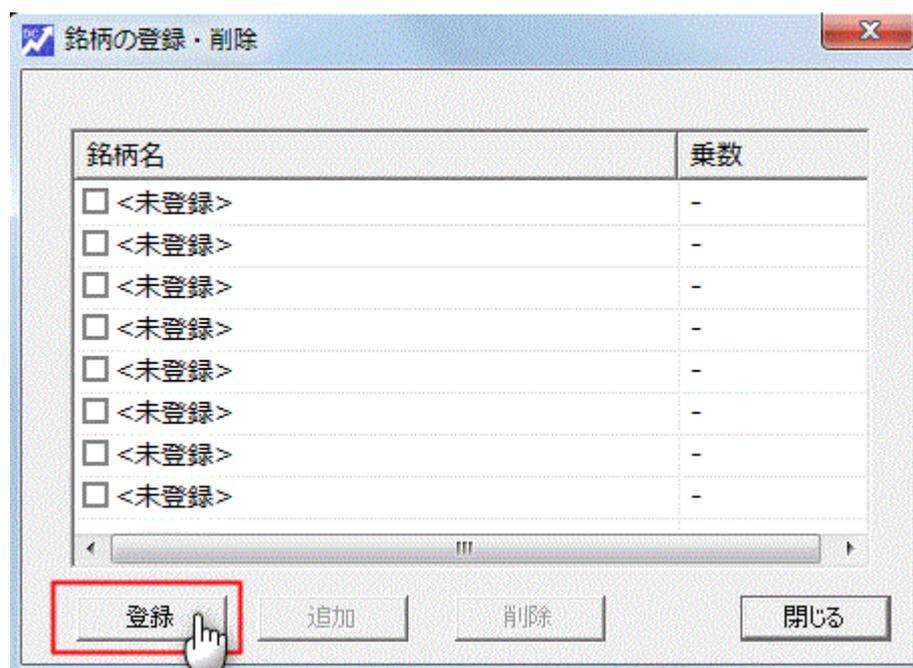
次の画面が表示されます。ここで銘柄名を入力し OK ボタンをクリックします。

銘柄名は 1 度だけ登録する必要があります。

なお、登録できる銘柄は最大 8 銘柄です。

分かりやすい名前をつけて登録します。

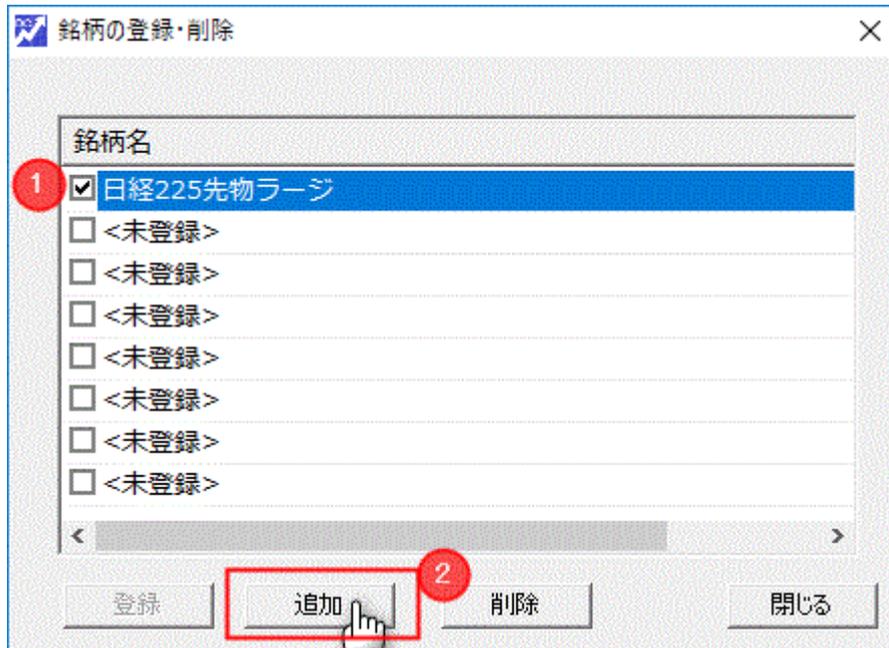
登録をクリック



「例：日経225先物ラージ」 入力後 OK をクリック。

2-3 データの追加

追加する銘柄を選び、追加をクリックします。

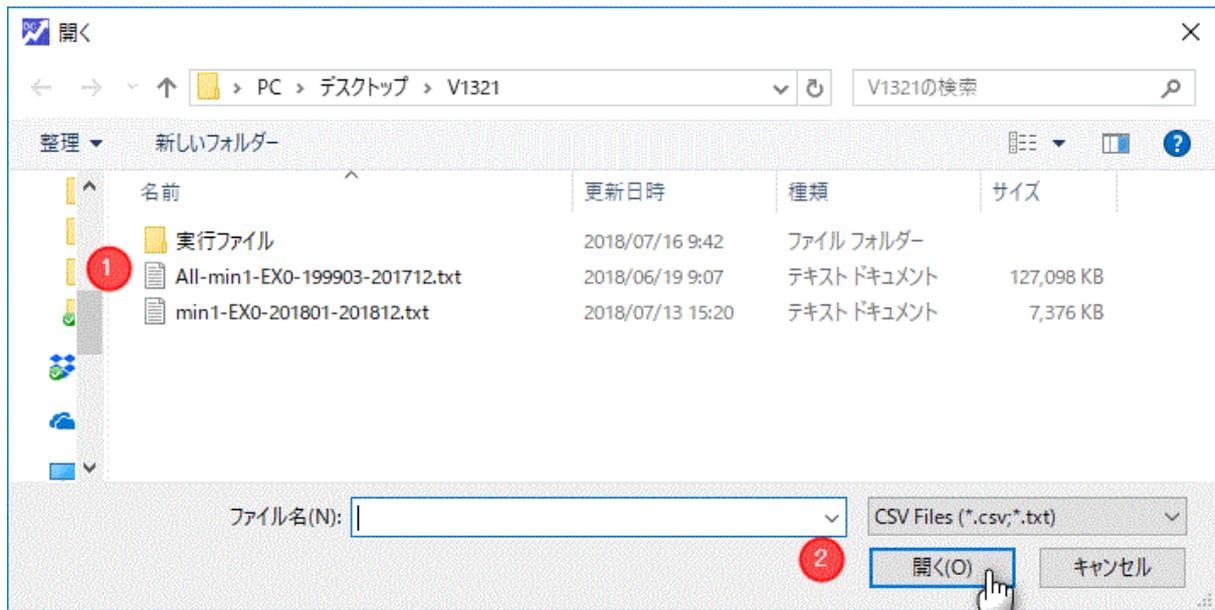


2-1 でダウンロードしたデータを選択します。

選択した後、「追加」をクリック。

データの保存場所は、特に指定はございませんので

2-1 でダウンロードした所を選択ください。



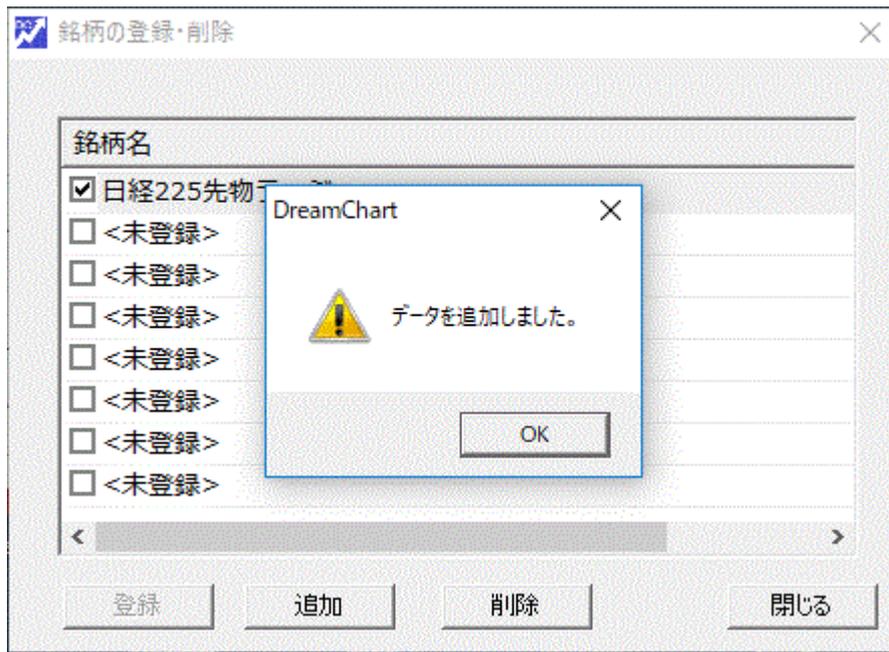
- a. 1999年3月～2017年12月分「All-min1-EX-199903-201712.txt」
- b. 2018年1月～12月分「min1-EX-201801-201812.txt」

 追加の順序は、年のデータが、年の古い順番で登録を行ってください。

データの追加は常にデータを上書きします。

データの抜けている期間がある場合は、データの抜けている部分から直近のデータまでを、

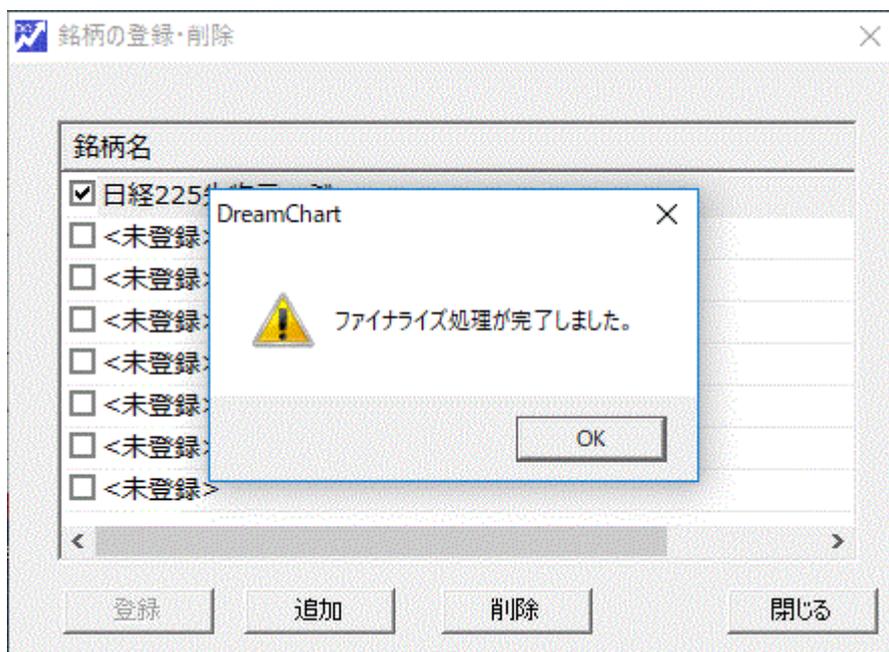
全てデータを追加して下さい。



データ完了が終わると、「データを追加しました。」という表示が出ます。

OK をクリック。

※続けて追加できます。



すべてのデータを追加後、「閉じる」をクリックすると、ファイナライズ処理を行います。

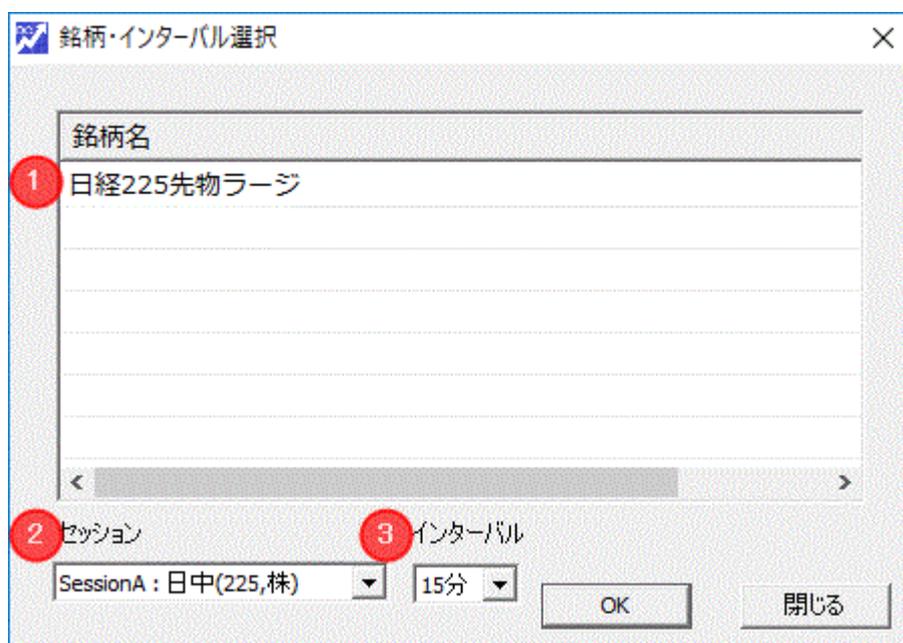
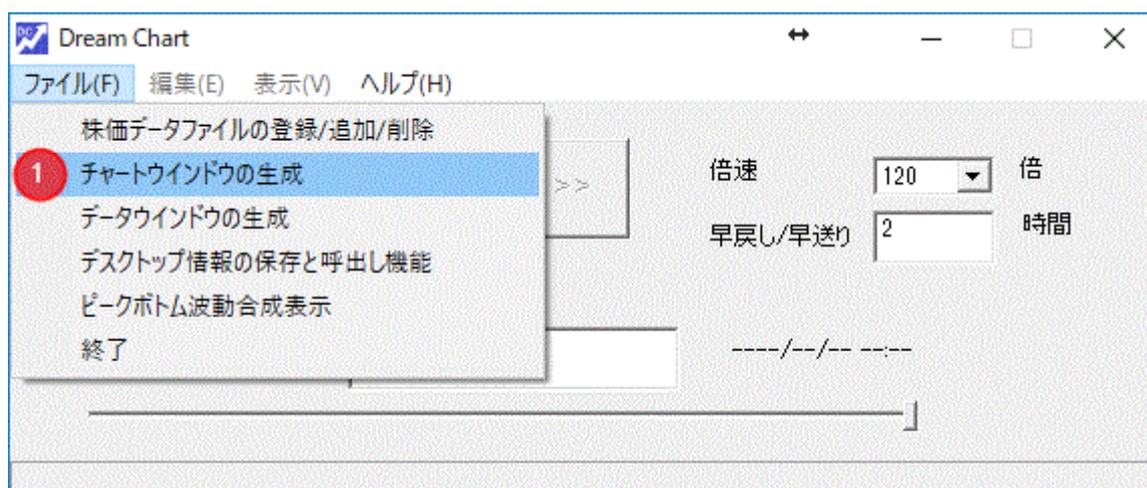
「ファイナライズ処理が完了しました。」という表示が出ます。

OK をクリック。

3. チャートウィンドの生成・操作

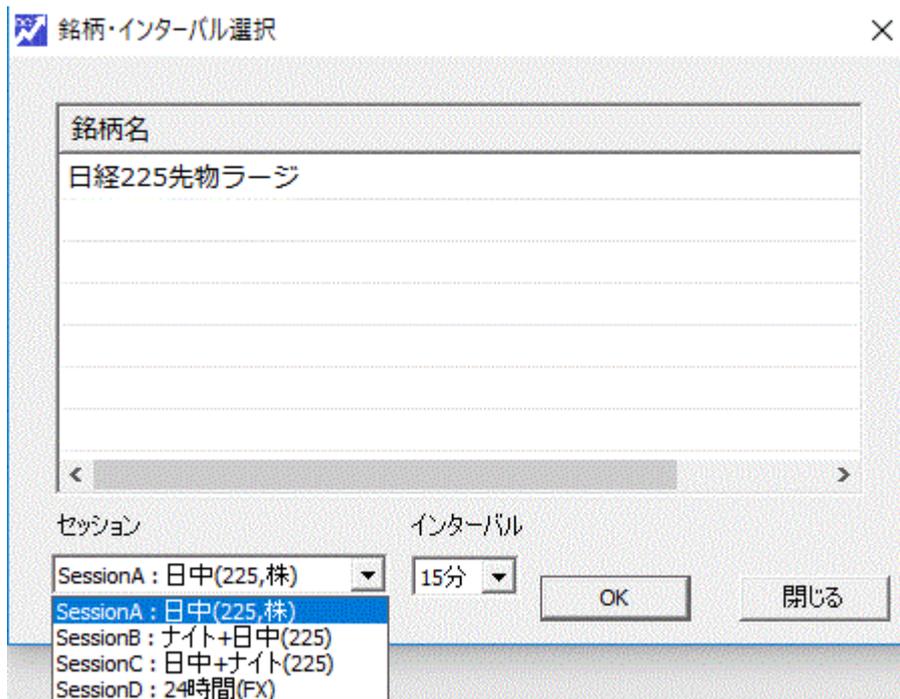
3-1 チャートウィンドの生成

ファイル (F) →チャートウィンドの生成 を選択します。



1. 銘柄名
2. セッション
3. インターバルを選択して OK をクリックします。

セッションは、4 つの種類があります。



各セッションの説明

SessionA : 日中取引のみ(225 先物,日本株) 始値 8:45 から終値 15:15 まで

SessionB : ナイトセッション+日中取引(225 先物) 始値 16:30 から終値翌日 15:15 まで

SessionC : 日中取引+ナイトセッション(225 先物) 始値 8:45 から終値翌日 5:30 まで

SessionD : 24 時間取引(FX) 始値 0:00 から終値翌日 0:00 まで

Session は、日足の場合の「始値」と「終値」の時間が何処にあるかを定義しています。

インターバル

「1分」「5分」「10分」「15分」「30分」「60分」「day」から選択できます。

「15分」ならば「15分足」を表しています。



チャートが表示されました。

上記は、15分足です。

3-2 指標の表示

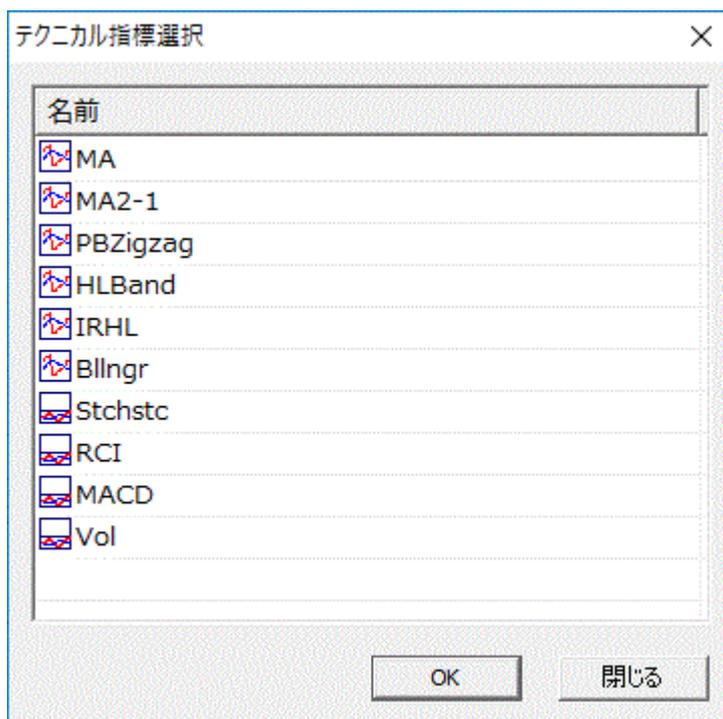
ここでは、移動平均を追加する説明をします。

テクニカル指標の説明は、後ほど説明します。

チャートウインドウの指標 (T) を選択して、追加を選択します。

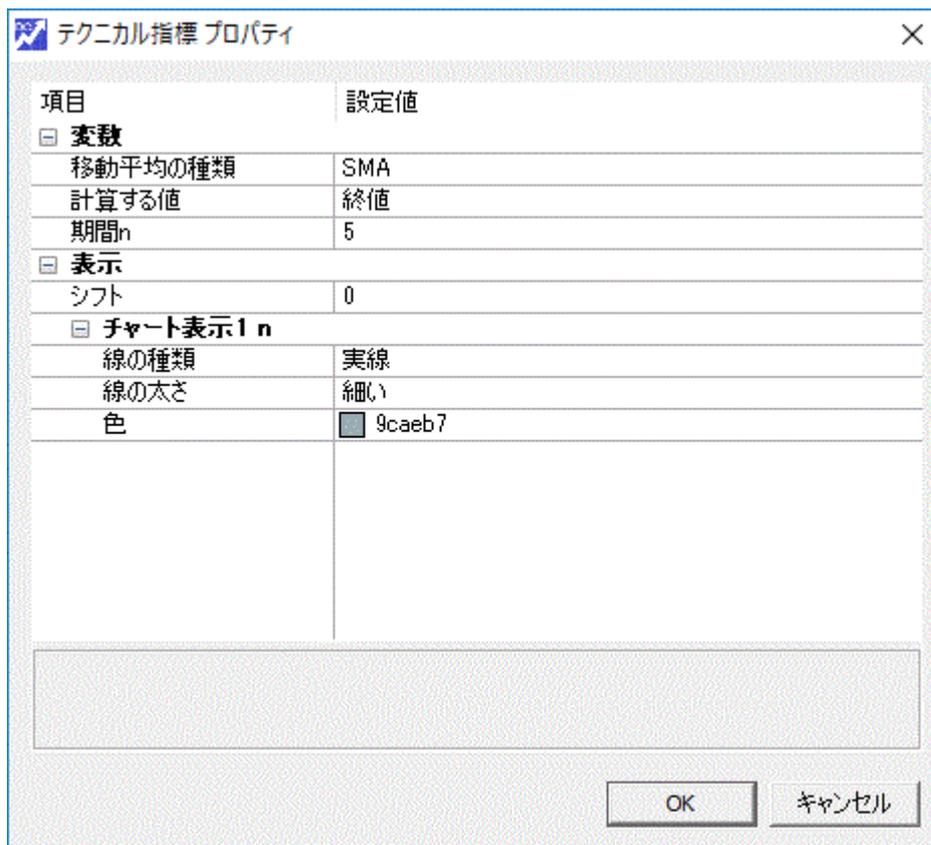


テクニカル指標選択画面が表示されるので、MA（移動平均）を選択し OK をクリックします。

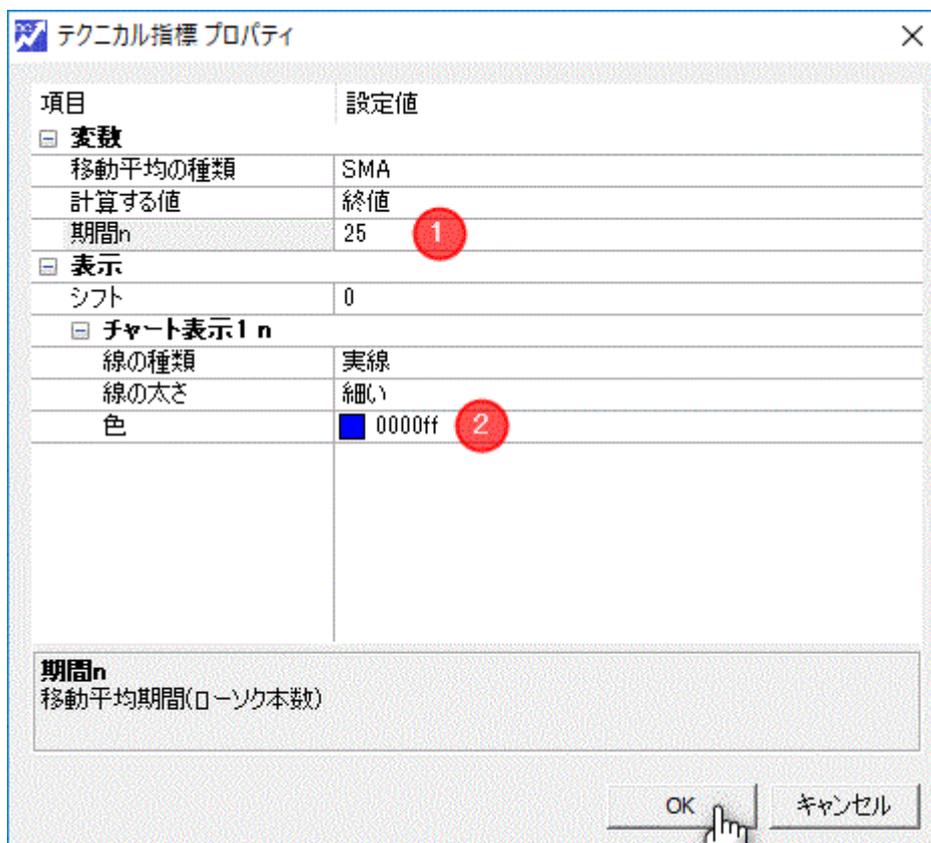


テクニカル指標のプロパティが表示されます。

以下は、MA の設定画面です。

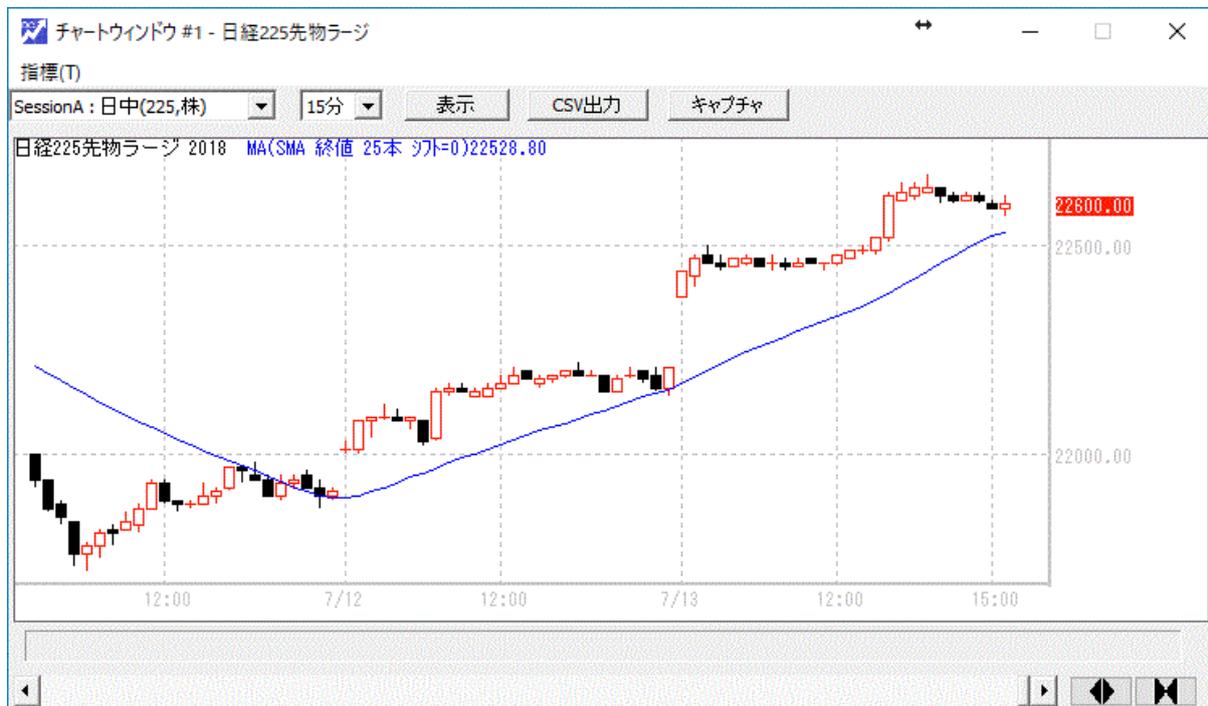


ここでは、25 本移動平均線を表示することにします。



期間 n の所を 25 に。色は 青を選択しています。

OK をクリックすると、チャートに反映されます。



同様に、75 本移動平均線を追加します。

テクニカル指標 プロパティ

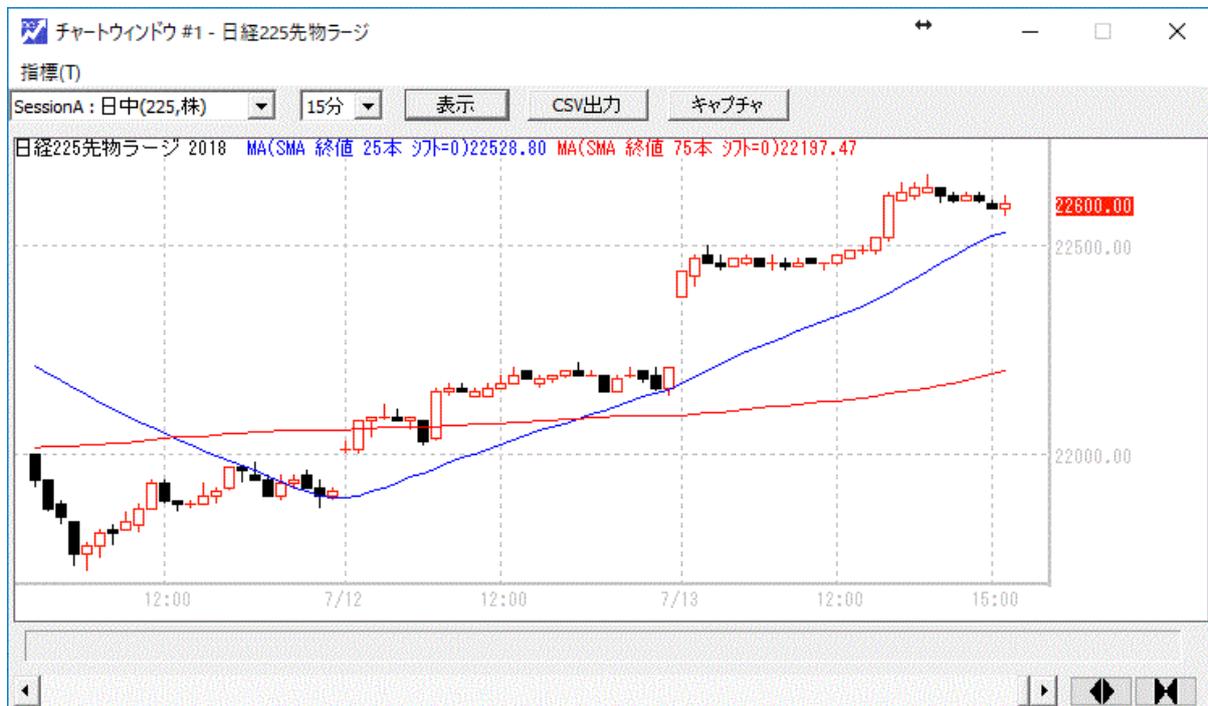
項目	設定値
変数	
移動平均の種類	SMA
計算する値	終値
期間n	75 ①
表示	
シフト	0
チャート表示1 n	
線の種類	実線
線の太さ	細い
色	■ ff0000 ②

期間n
移動平均期間(ローソク本数)

OK キャンセル

期間 n の所を 75 に。色は 赤を選択しています。

OK をクリックすると、チャートに反映されます。



3-3 チャートウインドのサイズ変更

チャートウインドは画面の拡大と縮小ができます。

ウインドの端をマウスでクリックした状態でマウスを動かしてクリックを外すと画面サイズを自由に変更することができます。

パソコンのモニターサイズに応じて、各ウインドを調整してください。

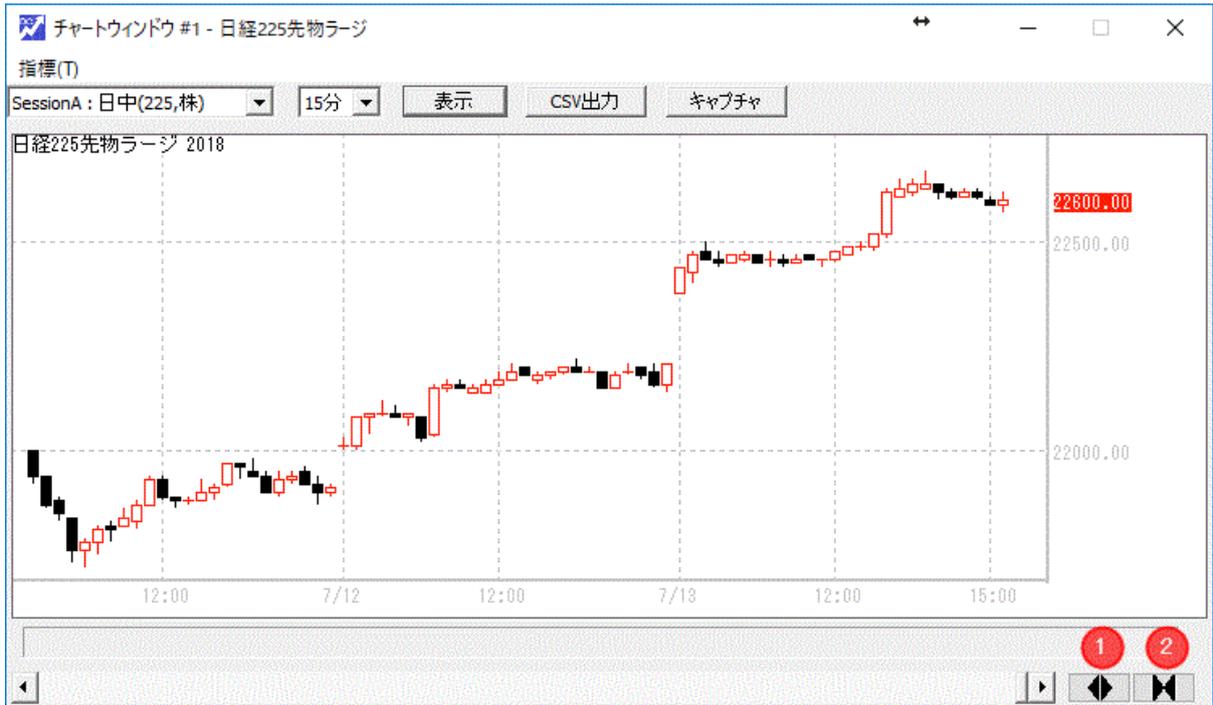


3-4 ロウソク足の幅の拡大・縮小

チャートウインドの中に表示するロウソク足の数を変更することができます。

ロウソク足の数を増やすと、より長い期間のチャートを見ることができます。

また、ロウソク足の数を減らすと、短い期間を大きく拡大して見るすることができます。



1 番を押すと、表示するロウソク足が少なくなり、大きく見ることができます。

2 番を押すと、表示するロウソク足が多くなり、長い期間を見ることができます。



1 番を押していくと、段々拡大されていきます。



2 番を押していくと、段々縮小されていきます。

3-5 表示する日時の変更

3-5-1 スライダーバーを移動して変更する

チャートウィンドが表示モードの時、チャートウィンドのスライダーバーを操作することができます。

チャートウィンドの「表示/再生」切り替えボタンを、マウスでクリックして、「表示」に変更してください。

この状態で、チャートウィンド下のスライダーバーを左右に動かすことにより、表示日時を変更することができます。

左に動かすと、日時を戻すことができます。右に動かすと、日時を進めることができます。



3-5-2 日時を指定して変更する

表示モードの時は、コントロールパネルの日時指定はできませんが

再生モードの時は、日時指定ができます。

このことを利用して、日時指定をします。

一旦、再生モードに変更して、日時を指定、

再生開始をすると指定の日時に移動するので、再生を停止後

表示モードに変更します。

3-6 チャートウインド内の描画領域の比率変更

チャートウインドに指標を表示しているとき、

「指標描画領域」と「ロウソク足描画領域」の表示比率を変更する方法です。

3-6-1 指標描画領域の幅を広くする操作

シフトキーを押しながら、チャートウインドの上部分をクリック。



シフトキーを押しながら、
チャートウィンドウの上半分を
マウスクリックすると、
ロウソク足のウインド領域が
狭くなります。

3-6-2 ロウソク足描画領域の幅を広くする操作

シフトキーを押しながら、チャートウィンドウの下部分をクリック。



シフトキーを押しながら、
チャートウィンドウの下半分を
マウスクリックすると、
ロウソク足のウインド領域が
広がります。

4. データウインドの生成

データウインドは、株価情報の詳細を確認することができます。

表示される内容は、チャートウインドの或る日時の時点での、株価とテクニカル指数の値です。



ファイル (F) からデータウインドの生成をクリック。

データウインドが表示されます。

※最初にデータウインドが表示された時は日時を指定していない為、値は表示されません。

チャート上の地点をクリックすると、その時のデータ詳細が表示されます。

データウインドウ	
日経225先物ラージ	
2018/07/13 15:15	
Open	= 22590.00
High	= 22620.00
Low	= 22570.00
Close	= 22600.00
Volume	= 5954.00
MA(SMA 終値 25本 ヲフト=0)	22528.80
MA(SMA 終値 75本 ヲフト=0)	22197.47

5. テクニカル指標

5-1 テクニカル指標を追加する



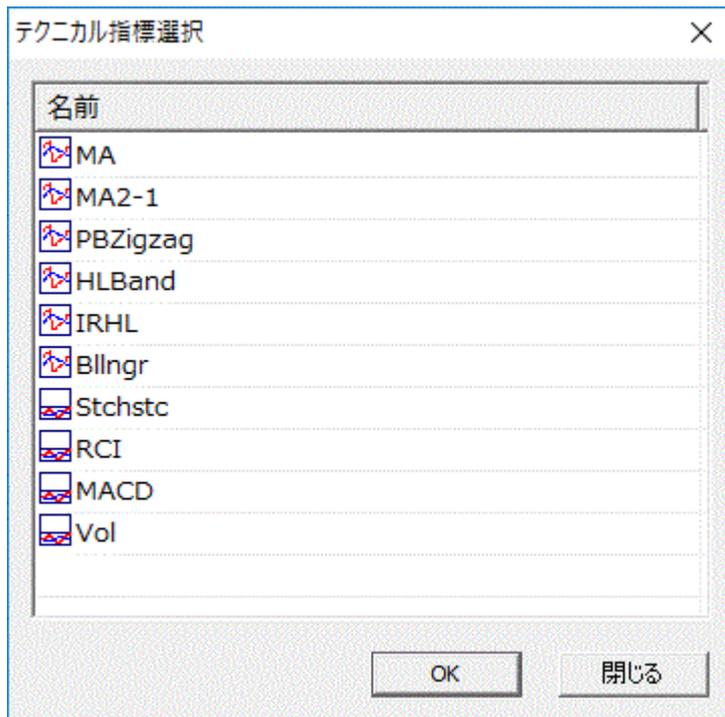
チャートウインドの指標メニューをクリックして「追加」を選択します。

追加を選択すると、テクニカルを選択画面が表示されます。

「追加」：チャートウインドへ、テクニカル指標を追加。

「削除」：チャートウインドの、表示しているテクニカル指標を削除。

「変更」：表示しているテクニカル指標のパラメータや色等を変更。



5-1-1 価格描画領域に重ね合わせるテクニカル指標

MA:ムービングアベレージ (Moving Average) 移動平均線

移動平均には単純移動平均(SMA)と指数移動平均(EMA)があります。

MA2-1 : ムービングアベレージ 2-1 (Moving Average 2-1) 短期移動平均と長期移動平均線とその平均

PBZigzag : ピークボトムジグザグ (Peak Bottom Zigzag) 高値 n MA 安値 n MA による転換

HLBand : ハイローバンド (High Low Band) n 高値線、n 安値線

IRHL : ラリーピークボトムライン(Important Recorded High Low)

Bllngr : ボリンジャーバンド(Bollinger Bands)

時間方向へのシフト (Displace 遷移) 機能を持ち、マイナスの値を設定すると、指標が株価に対して右側にずれます。プラスの値を設定すると、左側にずれます。

5-1-2 分割ウインドを生成し描画するテクニカル指標

Stchstc : ストキャティクス(Stochastic)

RCI : アールシーアイ(Rank Correlation Index)順位相関係数

MACD : マックディ(Moving Average Convergence and Divergence)マックディ

Vol : ボリューム(Volume)出来高

5-2 MA:移動平均線 (Moving Average)

EMA : 指数移動平均 と SMA : 単純移動平均

項目	設定値
変数	
移動平均の種類	SMA
計算する値	SMA
期間n	EMA
表示	
シフト	0
チャート表示1 n	
線の種類	実線
線の太さ	細い
色	■ 0000ff

移動平均の種類
単純移動平均(SMA) / 指数移動平均(EMA)

OK キャンセル

MAのプロパティから、選択できます。

移動平均の種類 : 次の2種類を選択できます。

単純移動平均(SMA) : 直近の価格から n 本目の価格の単純平均を計算します。

指数移動平均(EMA) : ema の計算は前回の ema を基に計算されます。

初回 $ema = \text{現在の価格}$

2 回以降 $ema = ema + 2 \times (\text{現在の価格} - ema) / (n+1)$

計算する値 : ロウソク足の、次の 4 種類を選択できます。

始値、高値、安値、終値

期間 n : n 本の足の移動平均とします。n は 1~999 に設定できます。

次の 4 設定は各テクニカル指標全てに存在します。

1. シフト : 時間方向へのシフト機能を持ちます。-99~99 に設定できます。
2. 線の種類 : 実践、破線、点線 より選択できます。
3. 線の太さ : 細い、中太、太い、極太 より選択できます。
4. 線の色 : 色パレットにより選択できます。



SMA25 本 色指定 青 の例

5-3 MA2-1 : 短期移動平均と長期移動平均とその平均 (Moving Average 2-1)

項目	設定値
期間a	25
期間b	75
表示	0
チャートa	
線の種類	実線
線の太さ	細い
色	0000ff
チャートb	
線の種類	実線
線の太さ	細い
色	ff0000
チャートc	
線の種類	実線
線の太さ	細い
色	008000

『aの単純移動平均』と『bの単純移動平均』、および、『その二つの平均（c）』を描画します。

『その二つの平均』とは、『上記2つ』の『中心点（中間点）』です。

ちょうど、真ん中に表示されます。

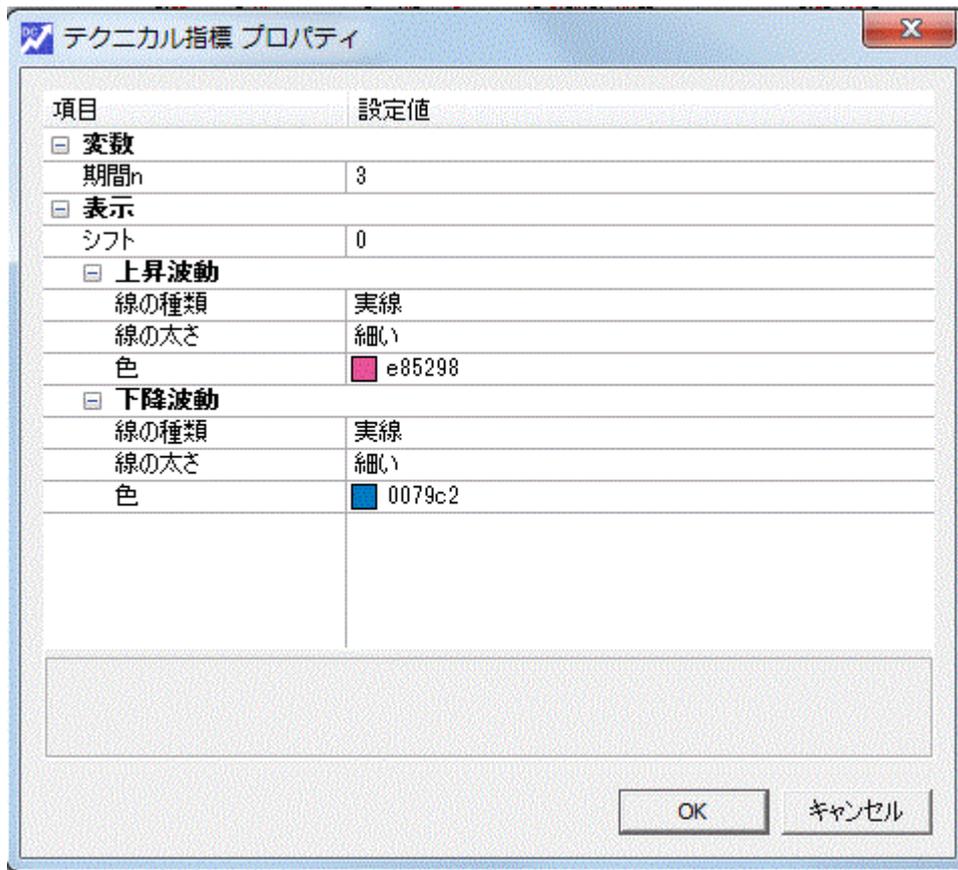
期間 a、 期間 b それぞれ、値を入力できます。 1～999 の範囲で指定できます。

単純移動平均の計算には「終値」を使用しています。



例：期間 a : 25 本 期間 b : 75 本 色指定 a : 青 b : 赤 c : 緑

5-4 PBZigzag : ピークボトムジグザグ (Peak Bottom Zigzag) 高値 n MA 安値 n MA による転換



指標ピークボトムジグザグは、高値の n 本単純移動平均と、安値の n 本単純移動平均で、トレンドの判定をおこないます。それぞれを、高値線、安値線と定義します。

転換を次のように定義しています。

- ・高値線が「安値線の直近高値」を下抜いた時を「波動の下転換」とする。
- ・安値線が「高値線の直近安値」を上抜いた時を「波動の上転換」とする。

ピーク/ボトムを次のように定義します。

- ・「波動のボトム」の定義：

「波動の上転換」が決定した時、「直近のピーク」の「次の足」から、

「現在の」 「波動の上転換した足」の「一つ前の足」まで、

の期間の「最安値」

・「波動のピーク」の定義：

「波動の下転換」が決定した時、「直近のボトム」の「次の足」から、

「現在」の「波動の下転換した足」の「一つ前の足」まで、

の期間の「最高値」



期間 n： n本の足の移動平均とします。nは 1～999 に設定できます。

・PBZigzag の 波動転換の矢印表示

「波動の転換した足」に、図に示す通り、↑ (上矢印) ↓ (下矢印) を描画します。

図の 4 番から 6 番

上矢印は「赤の塗りつぶし矢印」、下矢印は「黒の塗りつぶし矢印」

・ピークボトムライン波動転換価格の表示

図 1 番 いくらなら、ピーク、ボトムが確定するかを文字で表示します。

[足の高値が XXXXX 円以下なら、ピーク YYYYY 円が確定]

[足の安値が XXXXX 円以上なら、ボトム YYYYY 円が確定]

図の 2 番と 3 番

図の例では、

図の 6 番でボトムが確定している状況なので

この後下げれば、ピークが確定することになります。

どの価格になれば、ピークが確定するのか、またそのピークはいくらになるのかを
表示しています。

図では、

3 番の 22250 円以下になれば、2 番の 22670 円のピークが確定することを
表示しています。

5-5 HLBand : ハイローバンド (High Low Band) n 高値線、n 安値線

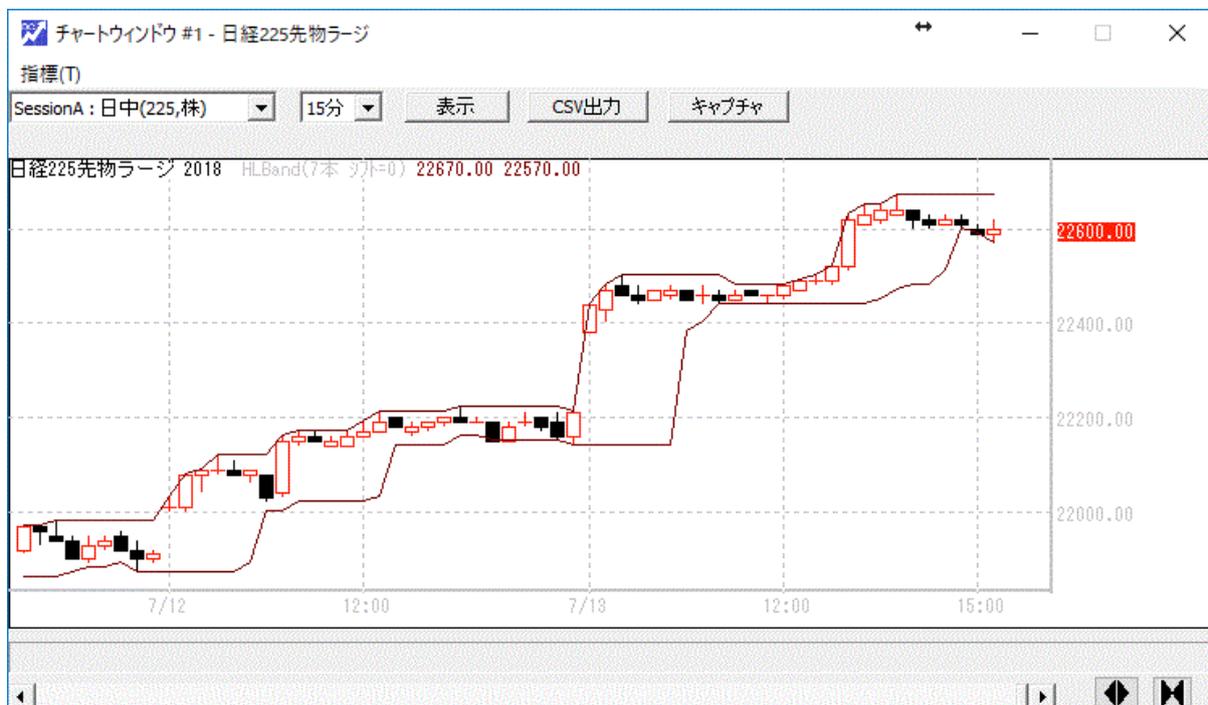
テクニカル指標 プロパティ

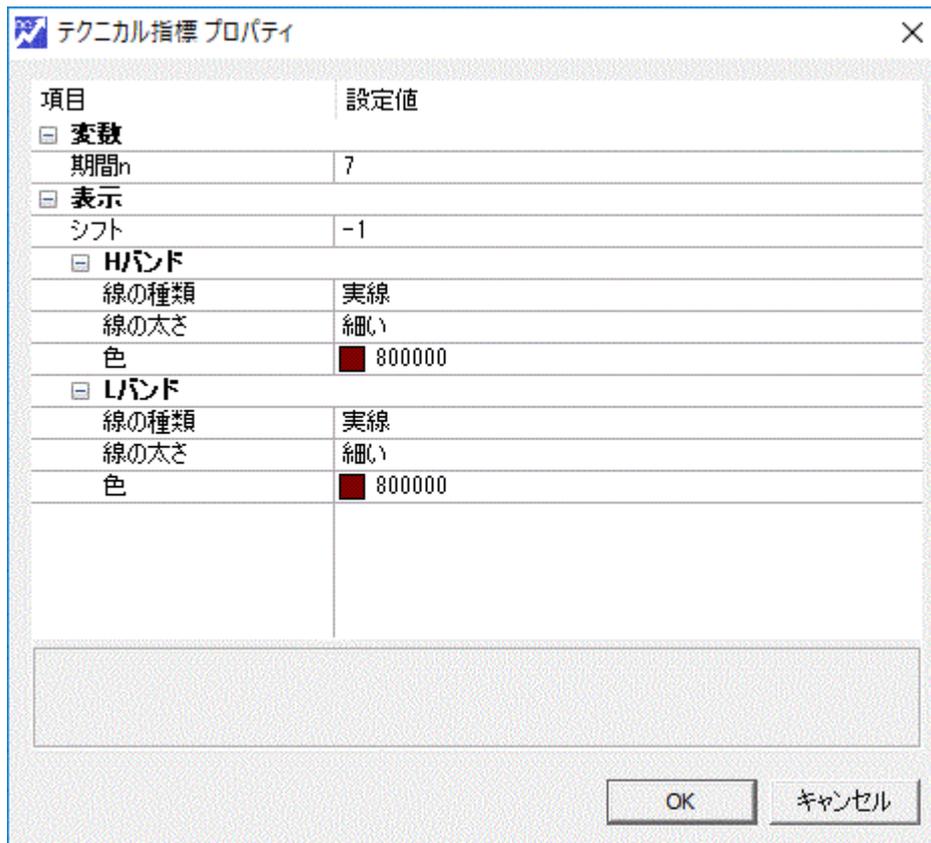
項目	設定値
変数	
期間n	7
表示	
シフト	0
Hバンド	
線の種類	実線
線の太さ	細い
色	■ 800000
Lバンド	
線の種類	実線
線の太さ	細い
色	■ 800000

OK キャンセル

n 日間の最高値をHバンドとして描画。

n 日間の最安値をLバンドとして描画。



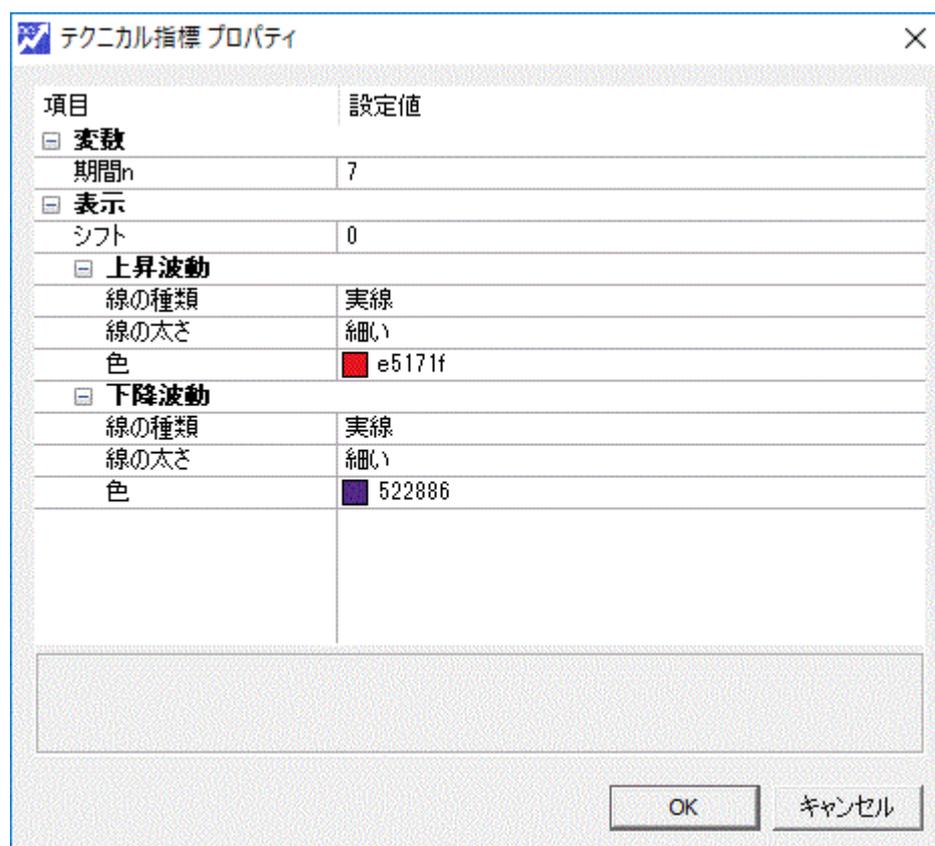


シフトに「-1」と設定すると HL バンドを 1 本前に移動することができます。



例 期間 7 シフト -1 色 茶色

5-6 IRHL : ラリーピークボトムライン(Important Recorded High Low)



ラリーのピークボトム (IRHL、ジグザグ線)

「IR 高安」は、ラリー・ウィリアムズが提唱している波動の取り出しかたです。

(IR とは、Important Recorded High(Low)の略)

・「1 日前から (1+n) 日前までの間の最高値をHバンド」、

「1 日前から (1+n) 日前までの間の最安値をLバンド」として、

それぞれ、高値線、安値線と定義する。

・現在の足の「高値」が「高値線」を上方向に突破した時を「波動の上転換」とする。

・現在の足の「安値」が「最安線」を下方向に突破した時を「波動の下転換」とする。

・「波動のボトム (安値) 」の定義 :

「波動の上転換」が決定した時、「直近のピーク」の「次の足」から、

「現在」の「波動の上転換した足」の「一つ前の足」までの期間の「最安値」

・「波動のピーク (高値)」の定義：

「波動の下転換」が決定した時、「直近のボトム」の「次の足」から、

「現在」の「波動の下転換した足」の「一つ前の足」までの期間の「最高値」

・ピークが決定した後はボトムの検出を行い、ボトムが決定した後はピークの検出を行います。

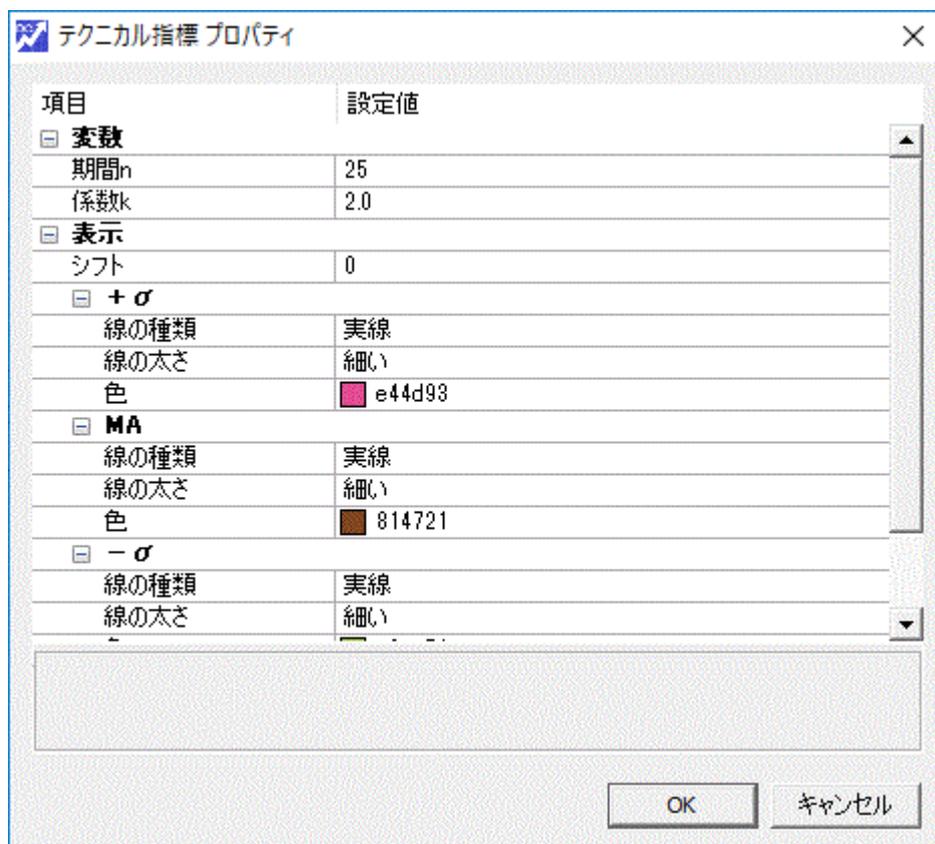
(ボトムを検出するときはボトムの突破に注目して、ピークを検出するときはピークの突破に注目する)

・「波動のボトム」と「波動のピーク」を直線で結ぶことにより、ジグザグの線を描画する。

・「波動のボトム」と「波動のピーク」の「価格」をグラフ上に描画する。



5-7 Bllngr : ボリンジャーバンド(Bollinger Bands)



5-8 Stchstc : ストキャティクス(Stochastic)

項目	設定値
変数	
期間n	12
期間p	5
期間q	4
水準線A	80
水準線B	20
表示	
シフト	0
チャートK	
線の種類	実線
線の太さ	細い
色	ee7b1a
チャートD	
線の種類	実線
線の太さ	細い
色	00a0de

%K : n 本の一定期間の株価の高値・安値・終値の位置を計算

%D : k の p 本の単純移動平均

SD : %D の q 本の単純移動平均

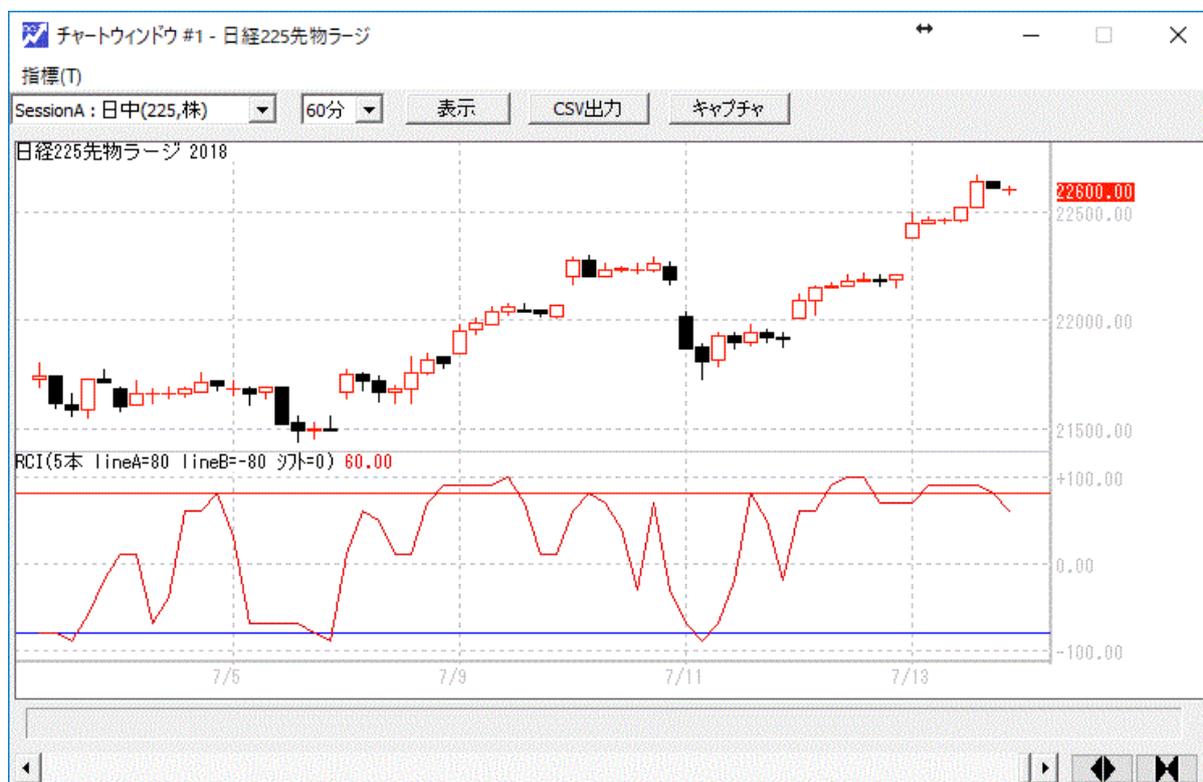


5-9 RCI : アールシーアイ(Rank Correlation Index)順位相関係数

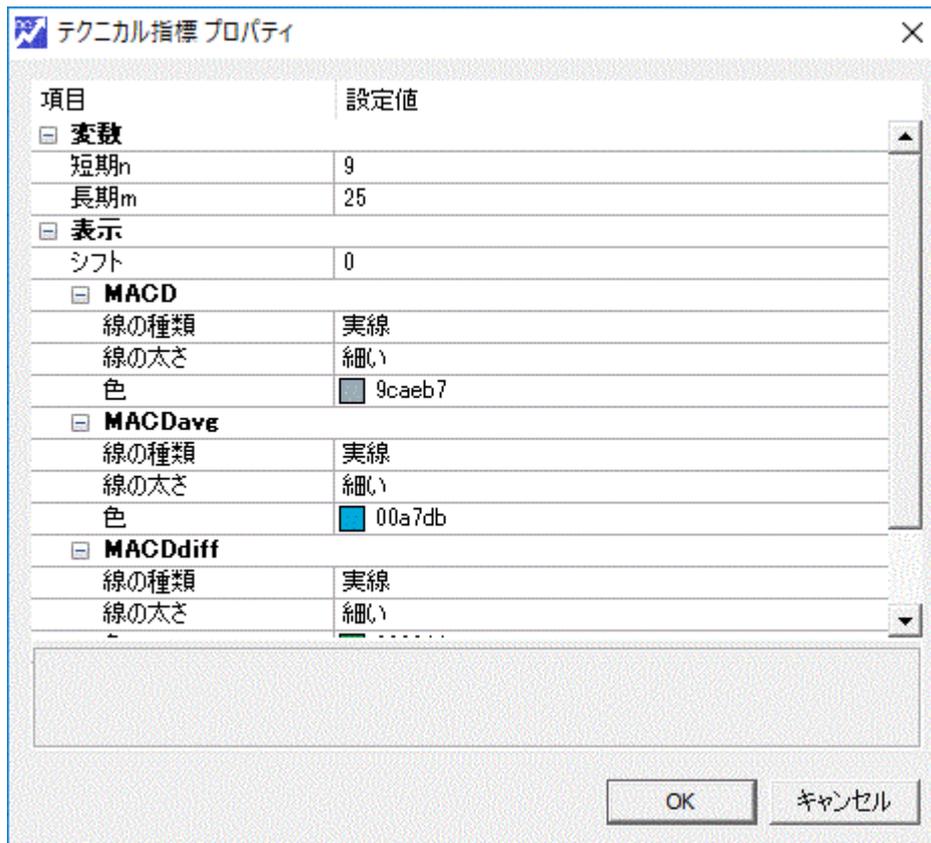
項目	設定値
変数	
期間n	5
水準線A	80
水準線B	-80
表示	
シフト	0
RCI	
線の種類	実線
線の太さ	細い
色	e60012

順位相関は統計学で使われる「スピアマンの係数」です。

n 本足の順位相関 = $(1 - (6 \times \sum d^2) \div (n^3 - n)) \times 100$ (ただし d は順位の差)



5-10 MACD : マックディ(Moving Average Convergence and Divergence)マックディ



MACDとは「Moving Average Convergence/Divergence Trading Method」の略で、移動平均-収束拡散トレード法となります。

MACD = 短期 EMA - 長期 EMA

短期（9本）EMAと長期（25本）EMAを用いる。

2本のEMAの乖離差：MACD = 短期(9本)EMA - 長期(25本)EMA

乖離差の短期（9本）平滑平均：MACDAvg = Ema(MACD, 9)

MACDDeff(ヒストグラムで表示される所)：MACDDeff = MACD - MACDAvg



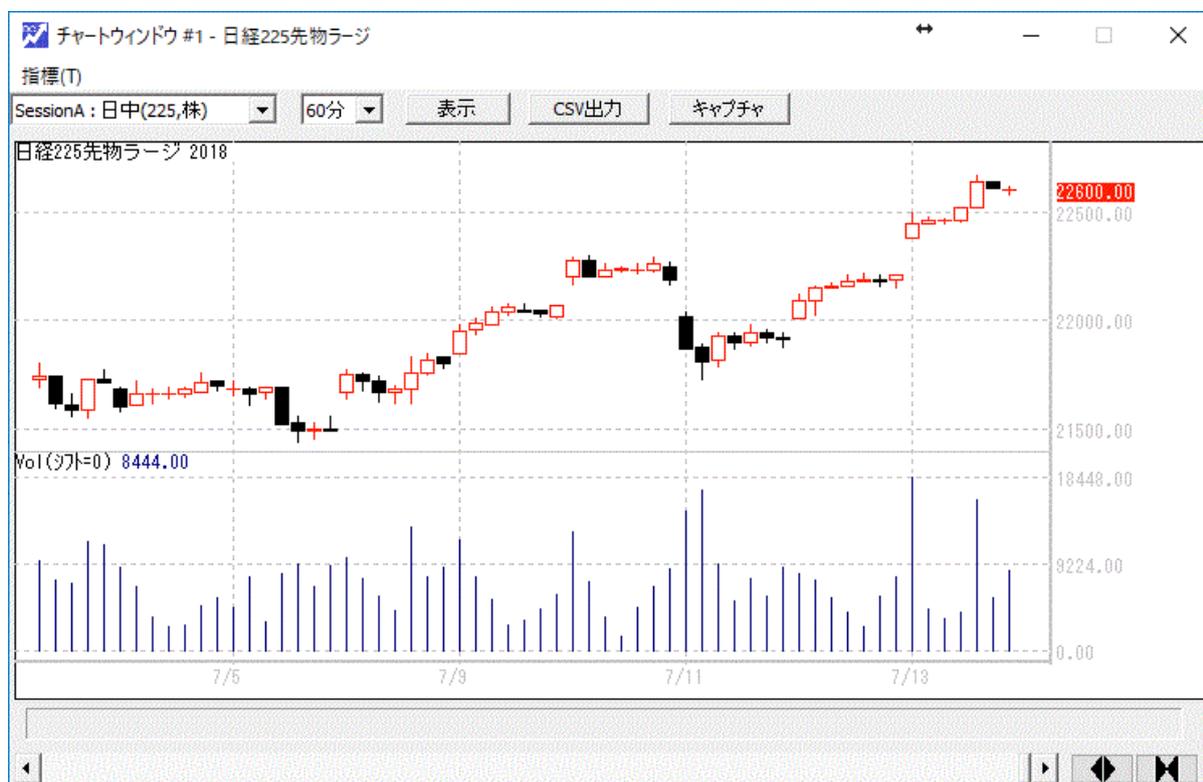
5-11 Vol : ボリューム(Volume)出来高

テクニカル指標 プロパティ

項目	設定値
<input checked="" type="checkbox"/> 変数	
<input checked="" type="checkbox"/> 表示	
シフト	0
<input checked="" type="checkbox"/> 出来高	
線の種類	実線
線の太さ	細い
色	■ 000080

OK キャンセル

出来高を棒グラフで描画します。



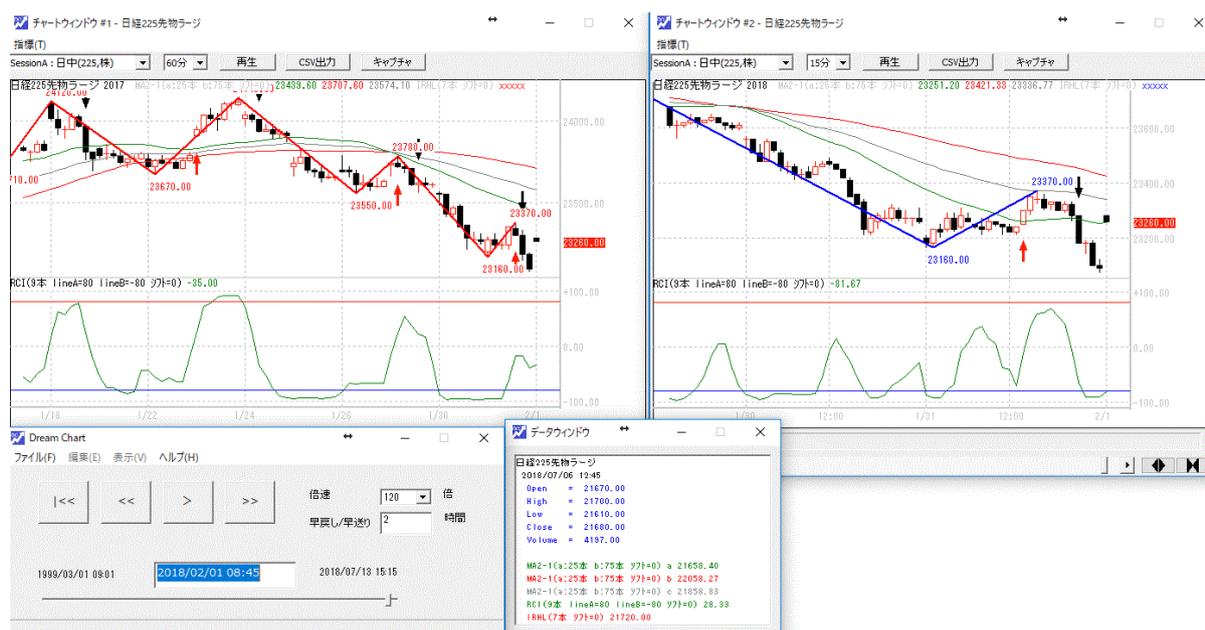
6. マルチチャート再生

ドリームチャートは複数のチャートウィンドを表示させ、それらのウィンドを同期させて、再生することができます。

異なるセッション、異なる銘柄、異なるロウソク足の分足、であっても、再生するときは、コントロールパネルの時間に従って、それぞれのチャートウィンドは再生動作を行います。

本マニュアル 3 から 5 の手順に従って、

チャート画面を作成してください。



チャート画面を二つ（60分足と15分）データウィンドとコントロールパネルが表示されています。

チャート画面は、最大 8 画面まで作成可能です。

6-1 再生モードへの切り替え



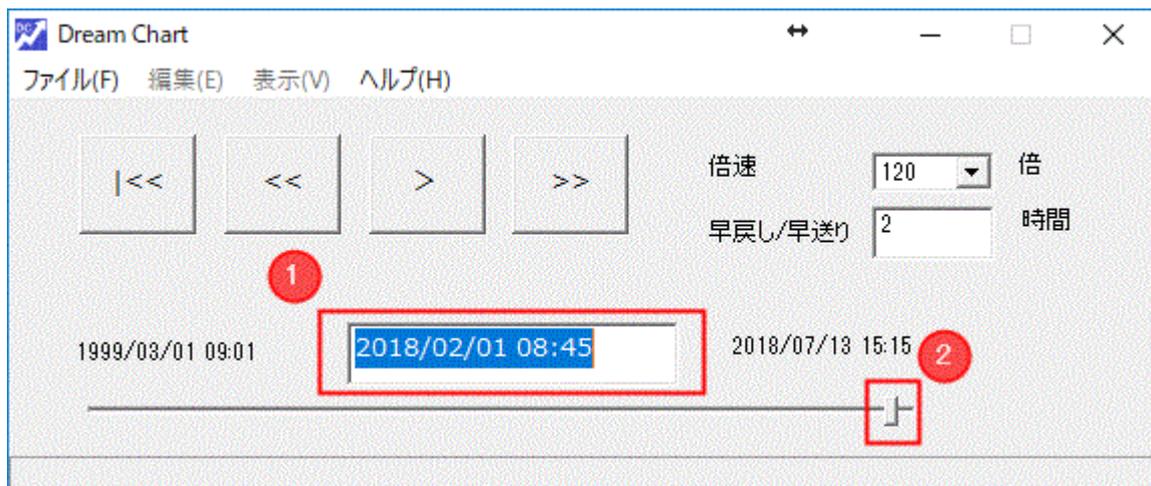
チャート画面で、再生モードになっているかを確認します。

表示モードになっている場合は、クリックして再生モードに切り替えてください。

すべてのチャート画面で、再生モードになっているかを確認します。

6-2 コントロールパネルの操作

6-2-1 再生コントロールパネルの再生日時指定



チャートウインドが再生モードになると、コントロールパネルの日時が有効となります。

このコントロールパネルの日時は変更することができます。

再生する日時に移動することができます。

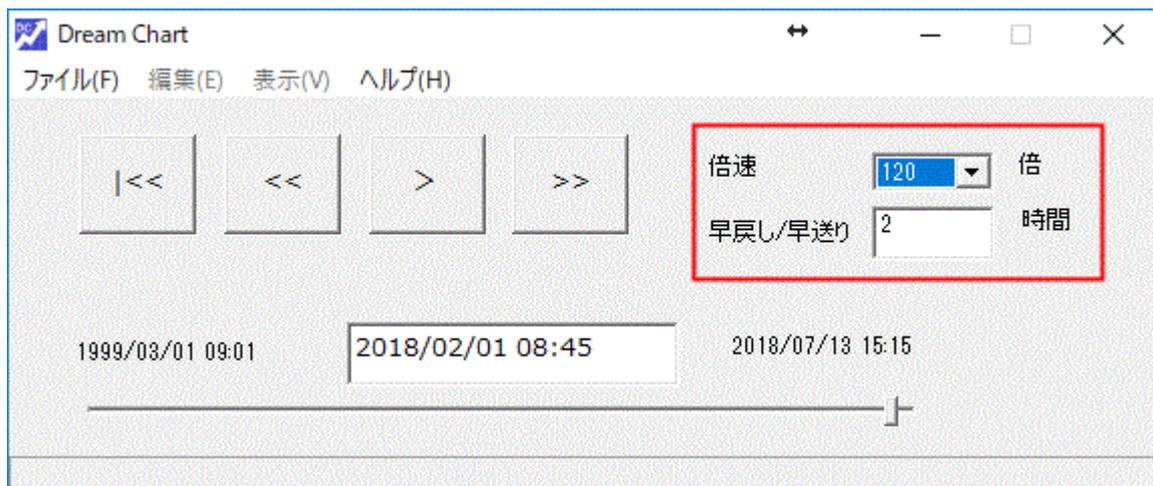
また、コントロールパネルの下のスライダーでも、日時を移動できます。(図の2番)

(但し細かい時間の移動は出来ないため、直接日時を数字で入力した方が正確な日時に移動することができます。)

6-2-2 再生速度の選択

再生スピードの設定は、コントロールパネルの倍速のボタンで、1倍速、10倍速、20倍速、30倍速、60倍速、120倍速、を選択できます。

120倍速が最も速く、24時間を12分間で再生できます。また、1倍速は再生スピードが最も遅いです。



6-2-3 早戻し、早送り時の送り時間の設定

コントロールパネルに、「早戻し」、「早送り」の機能があります。この時にどれ位時間を進めたり戻したりするか、時間単位で指定することが出来ます。

上の図では、2 と指定しています。「早送り」「早戻し」ボタンを 1 回クリックすると、2 時間、進んだり、戻ったりします。

6-2-4 コントロールパネルの再生コントロールボタン

コントロールパネルは、再生をコントロールする次のボタン 開始、停止、早戻し、早送り、先頭、があります。



開始（1）： > 再生日時から再生を開始します。

停止（1）： || 再生を停止します。（再生中のみ表示）

早戻し（2）： << 再生日時より、指定時間だけ、時間を戻します。

早送（3）： >> 再生日時から、指定時間だけ、時間を進めます。

先頭（4）： |< 初めの日時まで、再生日時を戻します。

7. ピークとボトム合成図

複数のピークボトムインジケーを合成した画像を作成することができます。

あらかじめ、設定済みファイルを同梱しております。

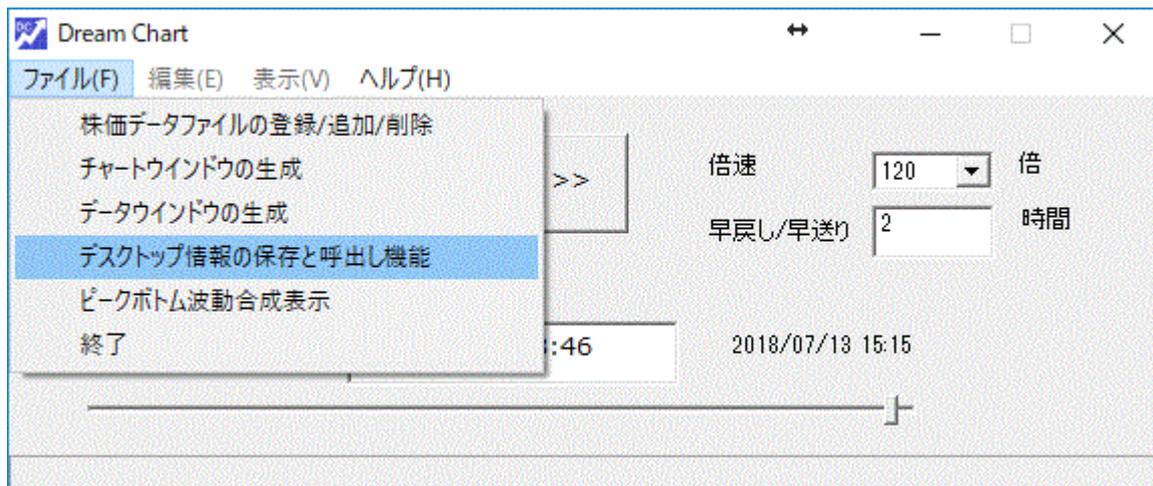
相場塾、ついてる仙人ブログ、はぴはぴブログで使用している設定を使用する場合は設定済みファイルをご利用頂くと簡単に設定できます。

ご自身でカスタマイズして利用する場合は、7-2 からご覧ください。

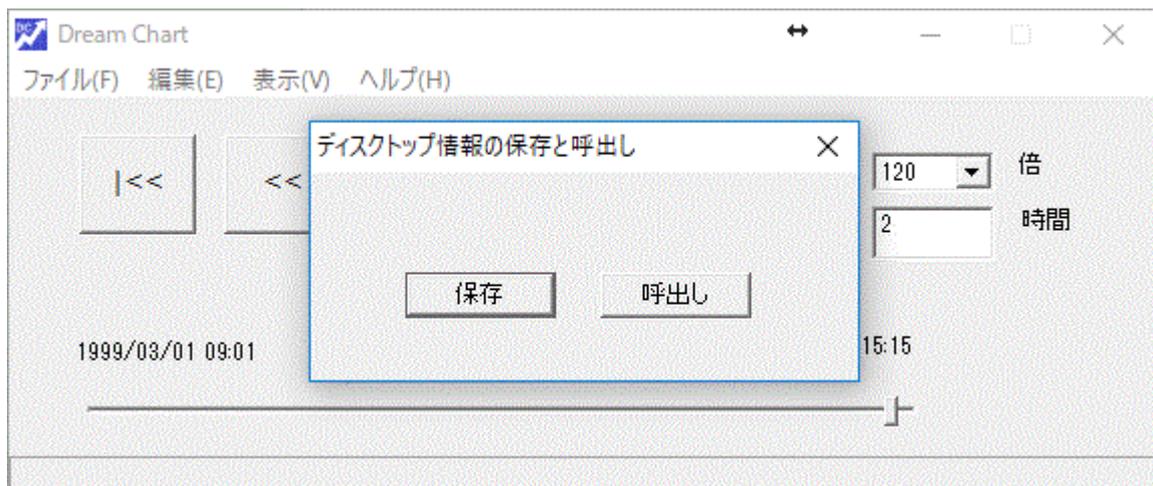
7-1 ピークとボトム合成図の元になるチャートを表示する

7-1-1 設定済みファイルを利用する場合

コントロールパネルのファイル (F) メニュー⇒「デスクトップ情報の保存と呼出し機能」をクリック



呼び出しをクリック



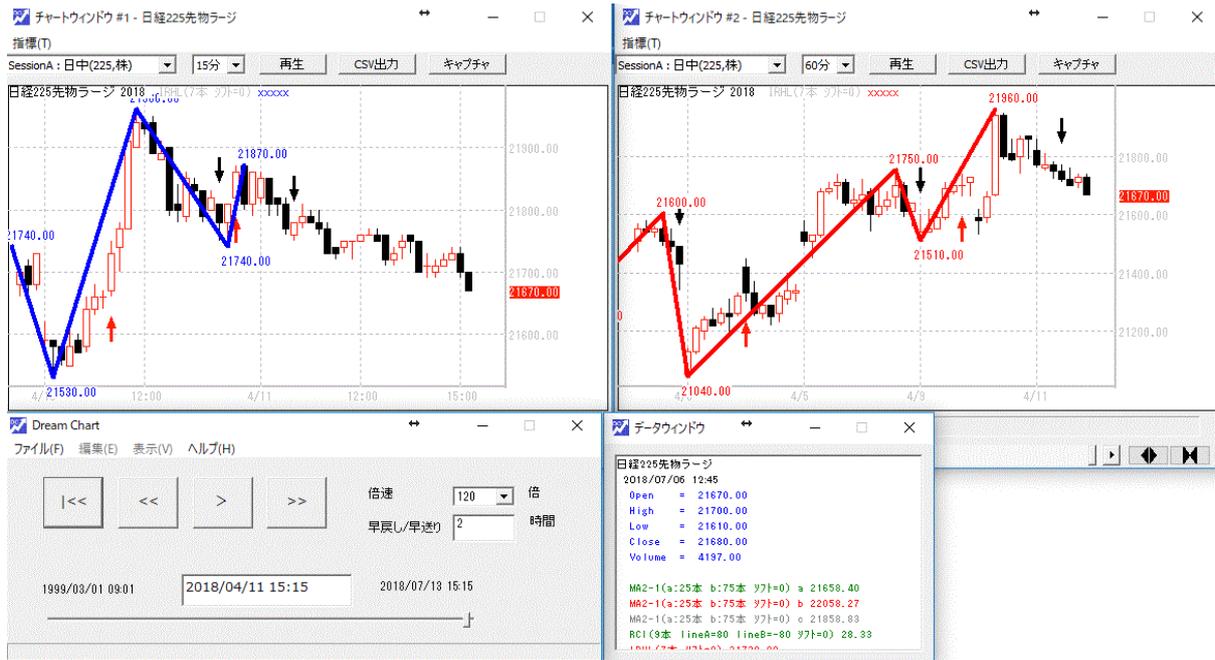
ダウンロードした実行ファイルフォルダの中に設定ファイルがあります。



「ピークとボトム合成図日中足描画用.dini」 セッション A 用のピークとボトム合成図の設定。

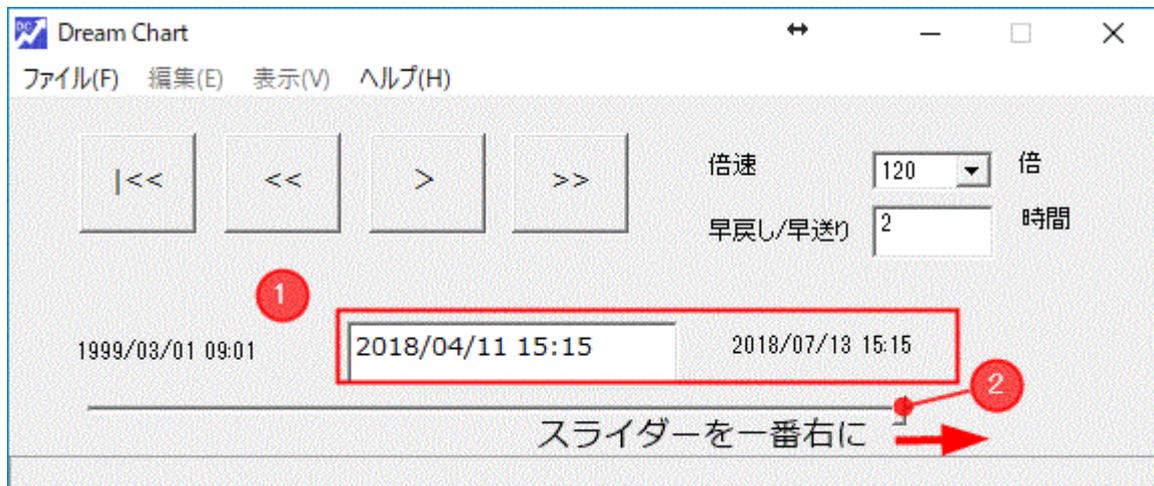
「ピークとボトム合成図日通し描画用.dini」 セッション B 用のピークとボトム合成図の設定。

表示したいピークとボトム合成図の設定ファイルを選択して「開く」をクリック。



設定したファイルを開くと

チャート画面が 2 つ立ち上がります。



⚠️ コントロールパネルの日付を確認すると、
最新の日付ではなく、少し古くなっている場合があります。

最新のピークとボトム合成図を表示する場合は、
スライダーをつまみ、右に移動して、最新の日付に移動します。

7-1-2 設定ファイルを使わずに作成する場合

ピークボトムインジケータとして PBZigzag 、IRHL の 2 種類に対応しています。

チャートウインドに、ピークボトムインジケータ (PBZigzag または IRHL) を追加する必要があります。

1. 一つのチャートウインドに表示した複数のピークボトムインジケータを合成することができます。

例えば、1 5 分足を表示したチャートウインドに、2 つのピークボトムインジケータを設定し、

(PBZigzag [パラメータ 3] 及び PBZigzag[パラメータ 1 2])

これを合成することができます。

2. 複数のチャートウインドに表示した、ピークボトムインジケータを合成することができます。

(1 の場合、2 の場合、いずれの場合であっても、チャートウインドを再生モードにして、日時を揃えれば、ピークボトムの合成が可能です)

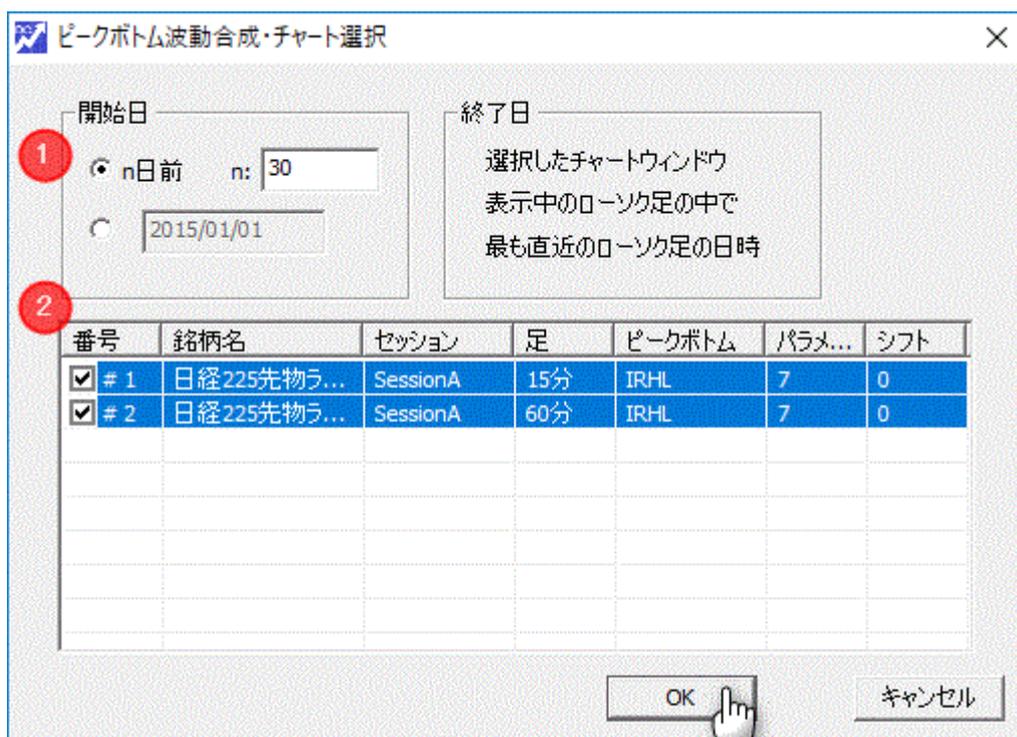
7-2 ピークとボトム波動合成を表示する

チャートの準備ができたので、ピークとボトム波動合成図を作成していきます。



コントロールパネルの ファイル → ピークとボトム波動合成表示をクリック。

ピークとボトム波動合成・チャート選択画面が出ます。



1 番で開始日を選択

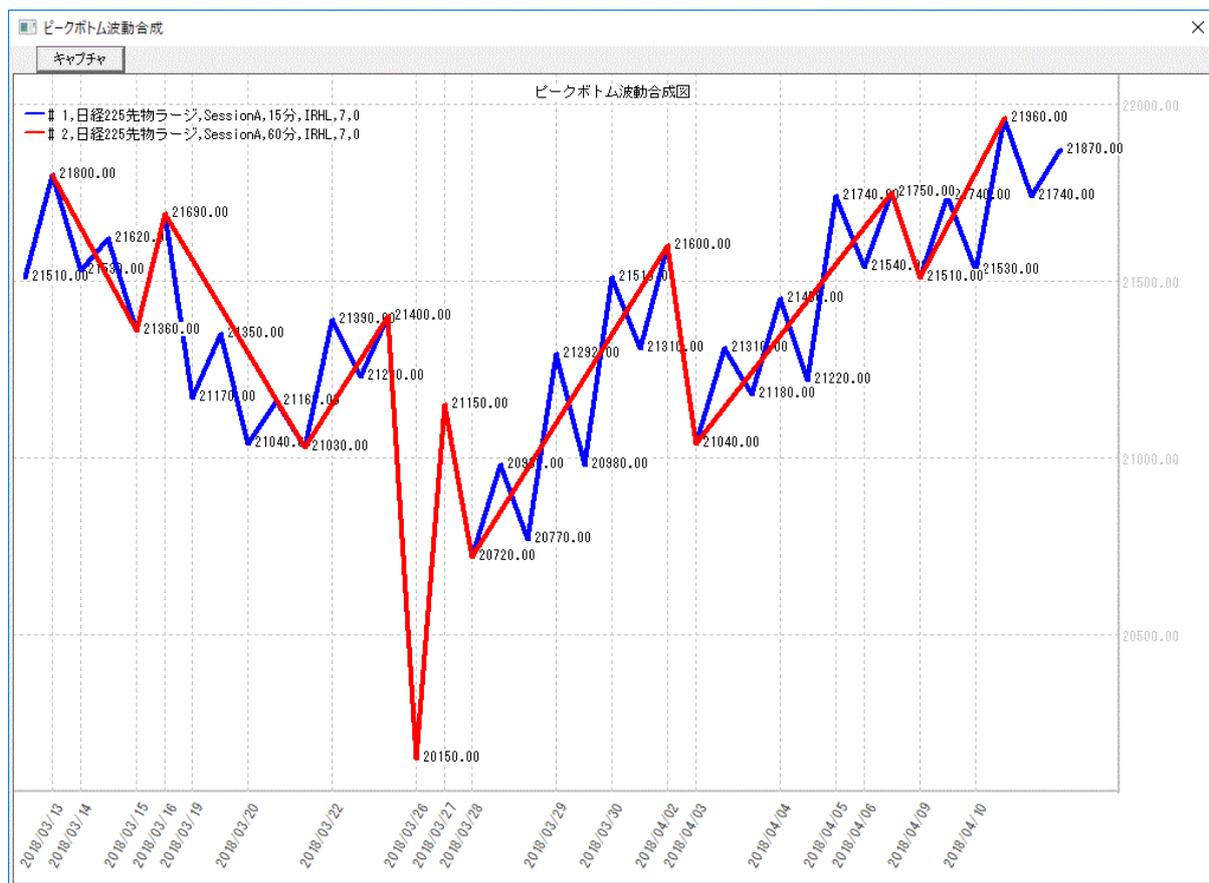
図では、30 日前から開始となっています。

2 番の所で、銘柄を二つ選択します。

ここでは、15分と60分のピークとボトム合成図を作成しています。

OKを押すとピークとボトム合成図が作成されます。

※銘柄を3つ選択すると、3つの合成ができます。

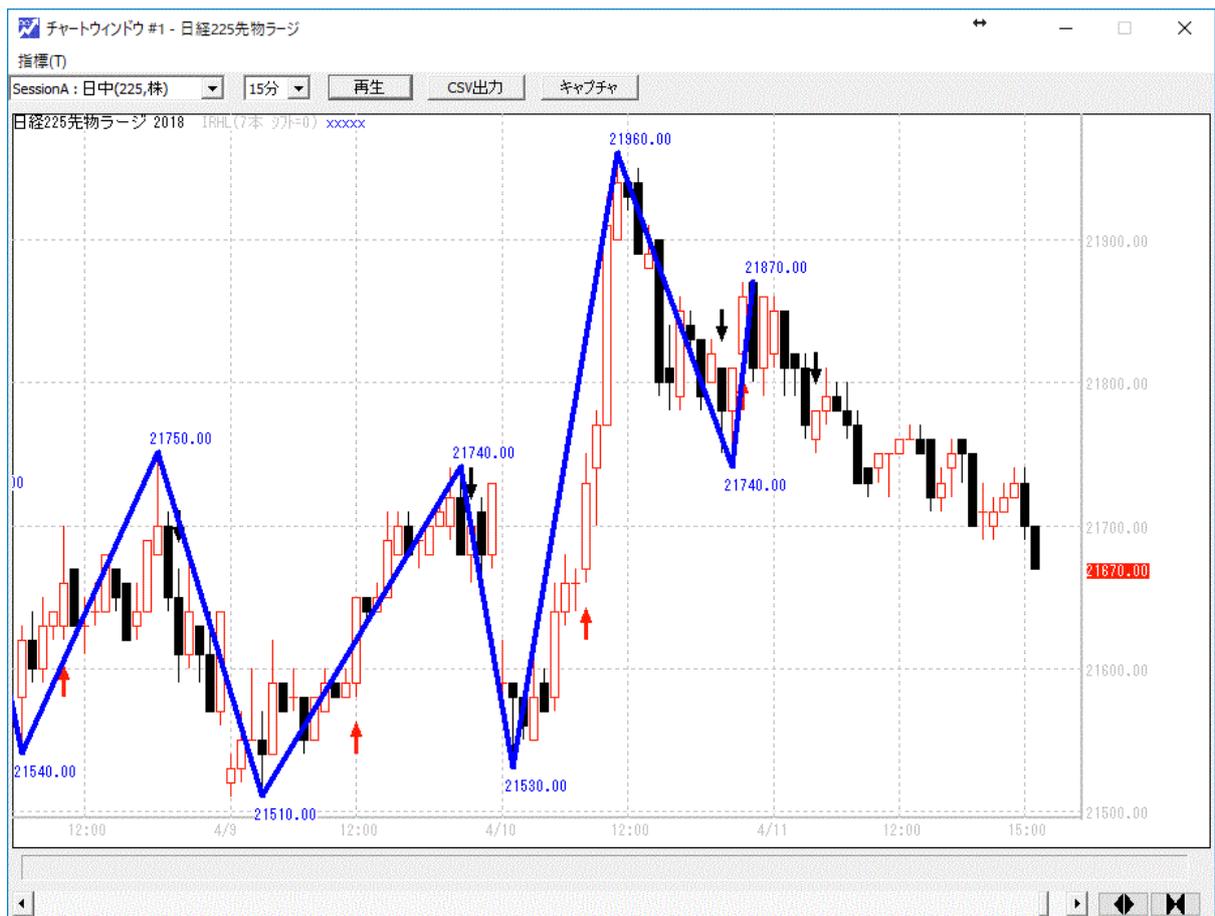


画面サイズを調整して、見やすくして確認ください。

7-3 ピークとボトム合成図のライン色の設定

ピークとボトム波動合成図のライン色は、チャートウインドの指標の色、太さで描画されています。

変更する場合は、チャートウインドの指標の変更をします。



指標から変更を選択して、IRHLの指標プロパティを表示します。

テクニカル指標 プロパティ

項目	設定値
<input type="checkbox"/> 変数	
期間n	7
<input type="checkbox"/> 表示	
シフト	0
<input type="checkbox"/> 上昇波動	
線の種類	実線
線の太さ	極太
色	0000ff
<input type="checkbox"/> 下降波動	
線の種類	実線
線の太さ	極太
色	0000ff

OK キャンセル

上記の例では、上昇波動と下降波動ともに 青色で、太さは極太 に設定されています。

ピークとボトム波動合成図の場合は、上昇波動と下降波動の色を統一する方が見やすいでしょう。

8. 各情報-保存/呼出

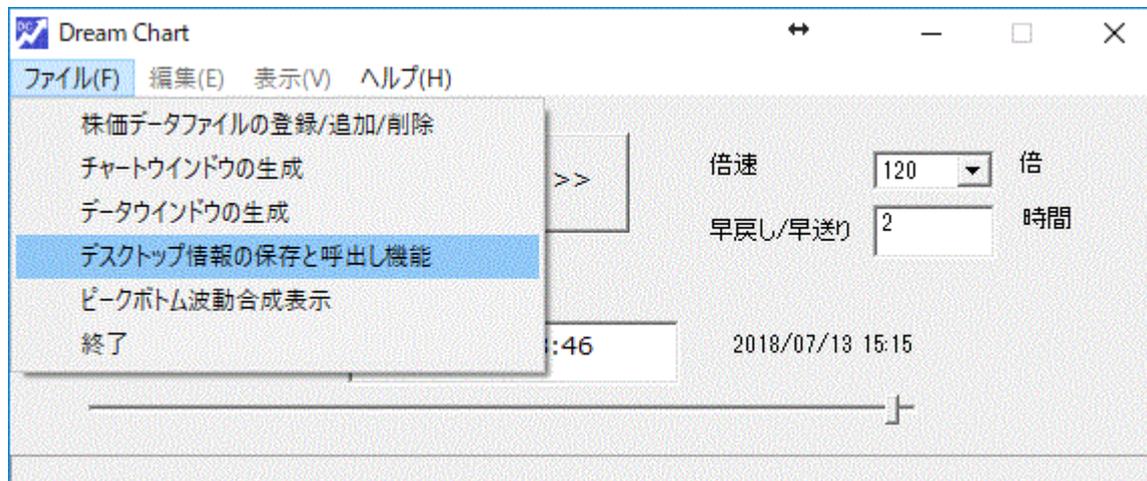
ユーザーが設定した情報を、デスクトップ情報ファイルとして保存および、呼出しを行うことができます。

保存と呼び出しができる項目は、各チャートウインドに設定されている、テクニカル指数、そのパラメータ、コントロールパネル上の再生時間、倍速、早戻し/早送り時間、データウインドの読み込んでいる情報、各ウインドのデスクトップ上での位置などです。

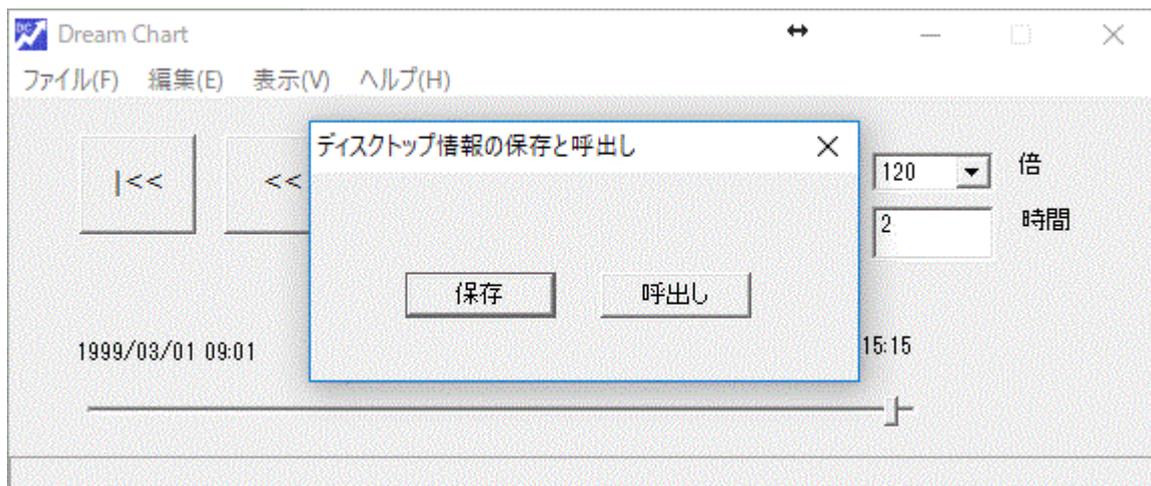
パラメータが異なる条件等を、ユーザー様の好みによって保存/呼出しが自由にできます。

8-1 デスクトップ情報の保存

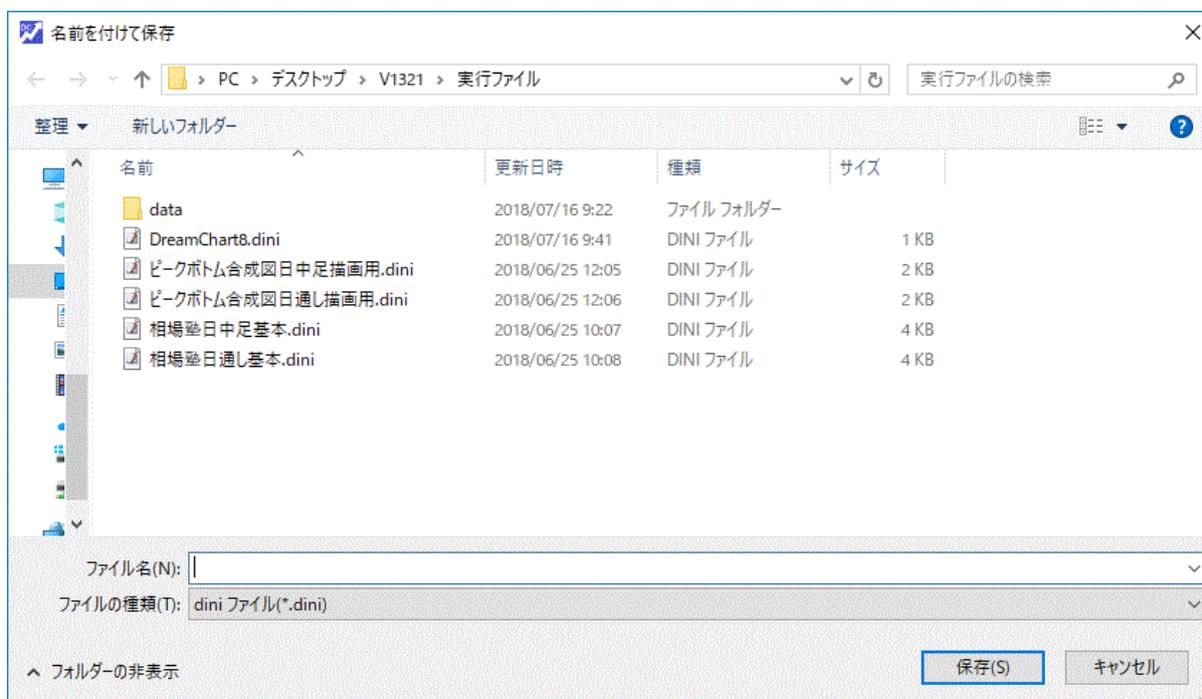
コントロールパネルのファイル（F）メニュー⇒「デスクトップ情報の保存と呼出し機能」をクリック。



保存をクリックします。



以下の「名前を付けて保存」という画面が表示されます。



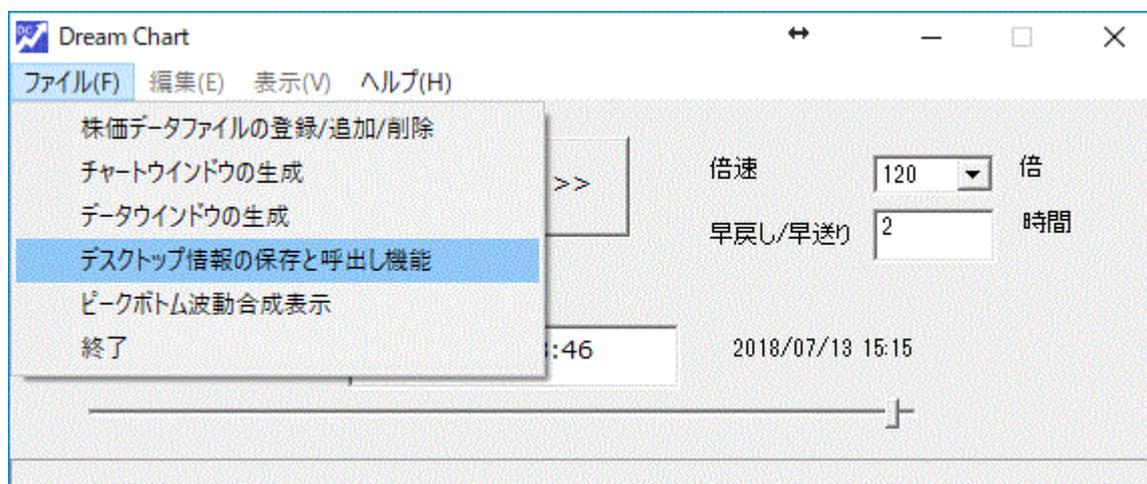
上記画面は、ドリームチャートのフォルダの実行ファイルの所に保存している所です。

覚えやすい名前をつけて保存をクリックしてください。

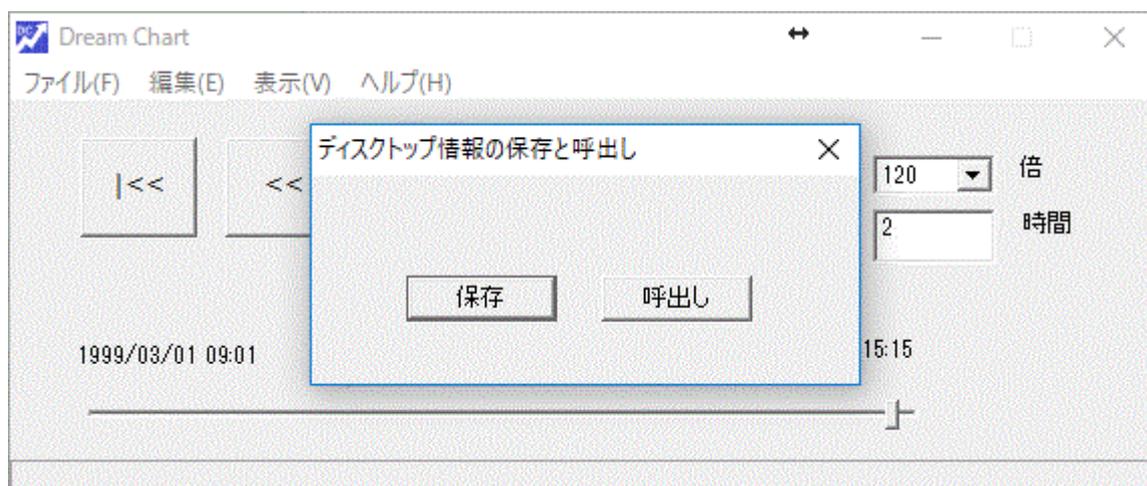
設定情報が保存されます。

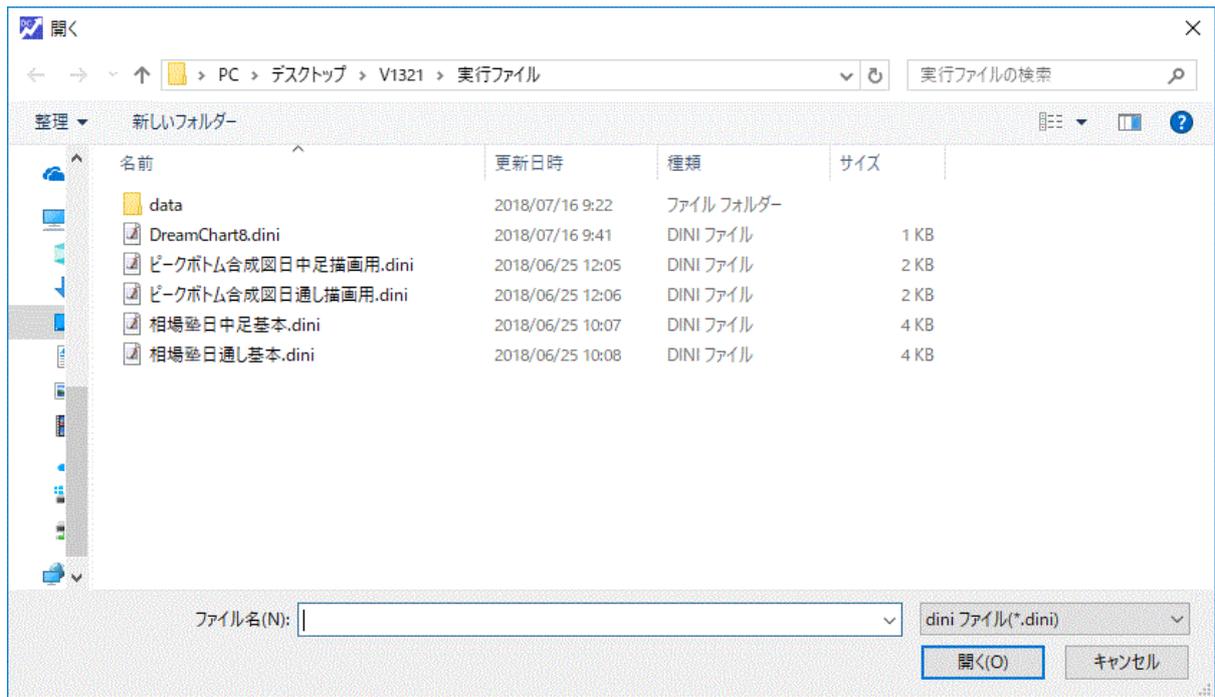
8-2 デスクトップ情報の呼出し

コントロールパネルのファイル (F) メニュー⇒「デスクトップ情報の保存と呼出し機能」をクリック。



呼出しをクリックします。





呼出しをしたい設定ファイルを選択して、「開く」をクリック。

メモ

ドリームチャートは、アプリケーションを終了するとき、終了時の状態を保存します。

また、次にドリームチャートを立ち上げた時、先に終了したときの状態を復元します。

9. その他の機能

9-1 画面キャプチャ

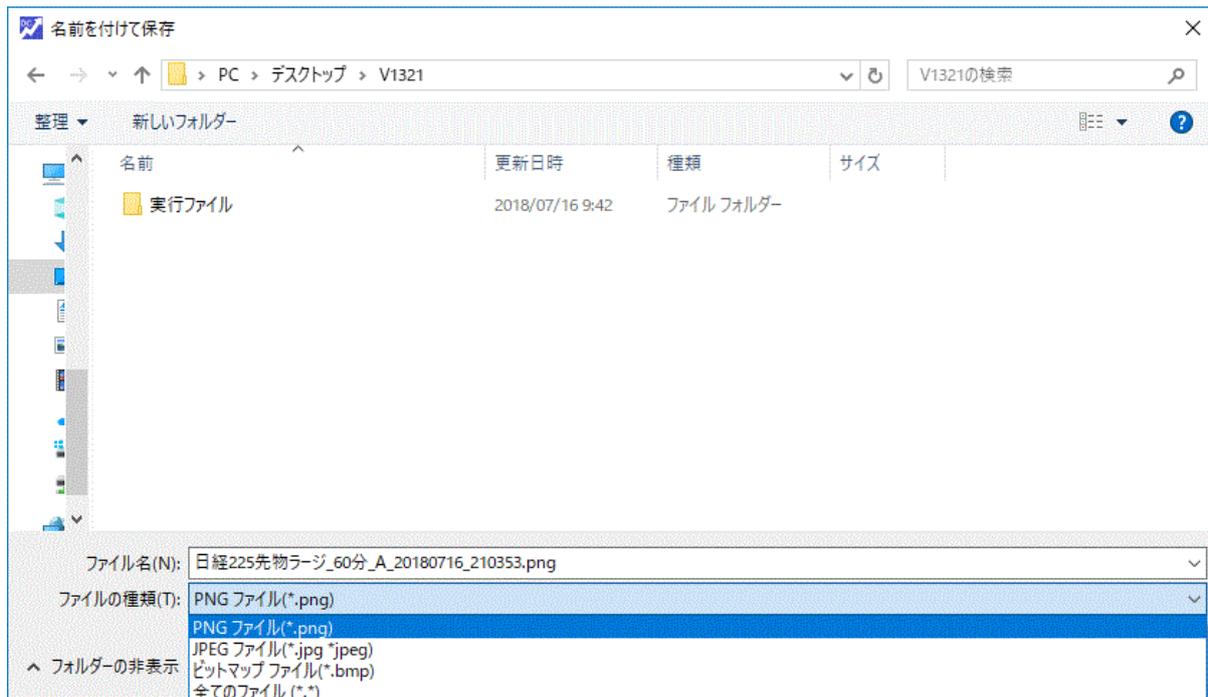
チャートウインドの画面を画像ファイルとして保存する機能として、キャプチャ機能があります。

チャートウインドの「キャプチャ」ボタンをクリック



すると、「名前を付けて保存」という画面が表示されるので、

ファイル名 (N) の入力と、ファイルの種類 (T) を選び「保存 (S)」のボタンをクリックします。



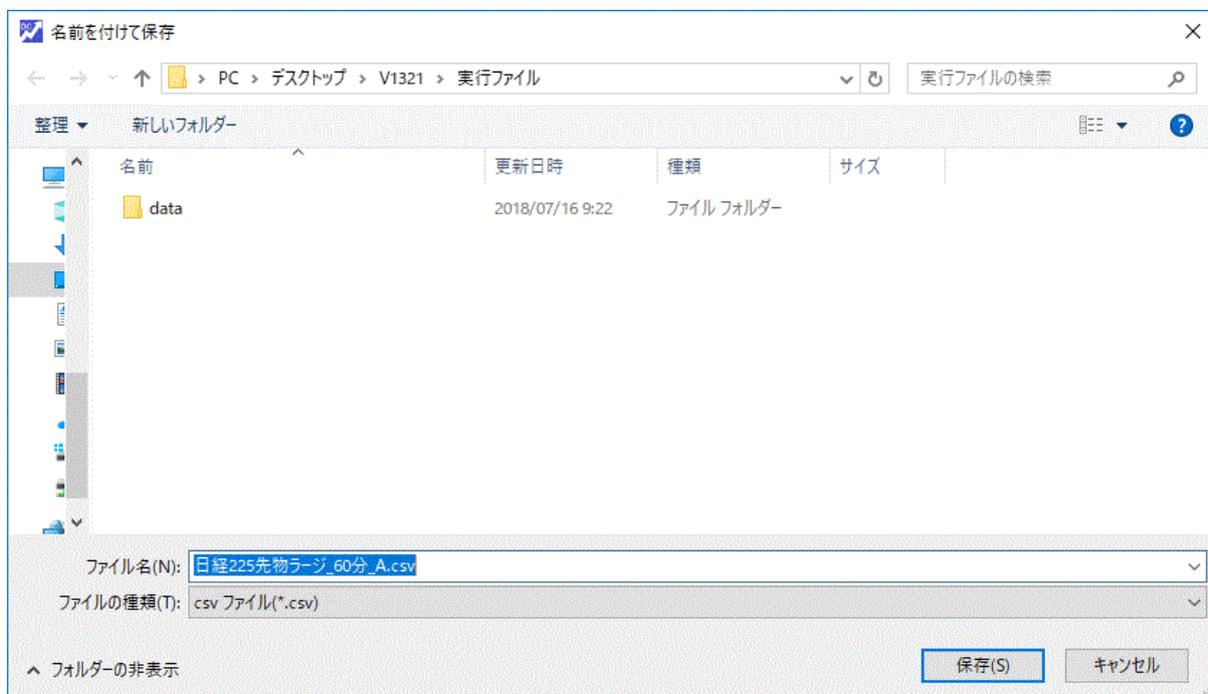
ファイル種類は3種類（PNG形式、JPEG形式、ビットマップ形式）の中から選択できます。

9-2 CSV ファイル出力

チャートウインドに表示中の銘柄のデータ、CSV形式のファイルに出力します。



チャートウィンドにおいて、その時点で選択されている、「銘柄」、「セッション」、「ロウソク足の「インターバル（分足）」にもとづいて、ファイル出力します。



保存をクリックすると、CSV ファイルが作成されます。

ドリームチャート 設定ファイル

株式会社 DREAM-CATCHER